

POR TS OF OSAKA PREFECTURE



堺泉北港50周年記念イベント（令和元年8月24日）

大阪府の

大阪府港湾協会
創立 60 周年記念号

2023.10 No.135

みなと



PORTS of OSAKA PREFECTURE

No.135 大阪府港湾協会
大阪府港湾協会創立60周年記念号



C·O·N·T·E·N·T·S

(一社)大阪府港湾協会 創立60周年記念特集

発刊にあたって (一社)大阪府港湾協会 会長	1
(一社)大阪府港湾協会 創立60周年に寄せて 大阪港湾局 局長	2
～わがまちとみなと～ 沿岸各市町長	3～8
大阪府営港湾の歩みと大阪府港湾協会設立の背景と経緯	9～13
写真で振り返る大阪府営港湾	14～23
大阪府港湾協会の歩み(60年史年表)	24～32

TOPICS

令和5年度 大阪みなとセミナー(奈良会場、東京会場)を開催しました	33
大阪湾クルーズを実施しました	34
令和5年度定期総会	35
LNG燃料タグボート「いしん」パンカーリング100回を達成しました	36
泉大津フェニックスにぎわいづくり委員会の取り組みについて	36
水門等操作訓練の実施 ～来るべき災害に備えて～	37
コンテナ荷役機器「ストラドルキャリア」の納入(堺泉北港「助松コンテナヤード」)	37

PORT NEWS

二色の浜海岸美化運動を実施しました	38
第10回深日港フェスティバルを開催しました	38
海の写真コンクール、中学生海の絵画コンクール 府知事賞の授与	39
堺の夏の風物詩「堺大魚夜市」が4年ぶりに現地開催されました	39
「アドプト・シーサイド・尾崎漁港浜」認定式	40
大阪880万人訓練に合わせて地震津波災害対策訓練を実施しました	40
ぼくたちのスマイル花火大作戦 !!	41
港内交通管制業務を大阪湾海上交通センターに統合しました	42
水際取締対策強化への協力依頼	43

INFORMATION

他港視察(木更津港・横須賀港)を実施します !	
会員様コラム	
泉州みなと食めぐり(第5回)／編集後記	50



Vol.11

阪南港の歴史

「阪南港」は、泉北郡忠岡町、岸和田市、貝塚市にまたがる大阪府の府営港湾です。阪南港の前身である、忠岡港、岸和田港、貝塚港はそれぞれ特色ある歴史を重ねながら発展してきました。阪南港の歴史第3回は三港の中から貝塚港について掲載します。

②貝塚港の歴史

貝塚港は、奈良時代の僧「行基」が当地（現在の貝塚市澤あたり）に寄り、船舶への強風を避けるため、土砂、木材等を運び込んだことが始まりといわれており、古来より大阪湾を航行する船舶の寄港地や強風等を避けるための避難地であったと伝えられています。

貝塚の地は古来より、海陸の便が良く、泉州の要衝を占め、林業、農業、水産業の発達とともに物資の集積地として繁栄したと伝えられています。

さらに、豊臣秀吉の「朝鮮の役」前後には、港湾物流増大の流れを受け、一大商港を形成し、瀬戸内海を主とする西国諸国との通商のため利用されたといわれています。

江戸時代中期から明治時代初期にかけては、西廻り航路の廻船「北前船」により、米や肥料（干鰯等）の生産地である北海道や東北地方等と結ばれ、当地方における移入の拠点として大いに活況を呈しました。

第二次世界大戦後の貝塚港の背後地は、繊維産業とともにワイヤーロープの生産がめざましく、国内有数の生産量を誇りました。そのような中、従来の陸送が飽和状態となり、貝塚港湾の大規模整備を希望する声が地元より起きました。そこで、昭和32年、大阪府により「貝塚港湾計画」が決定され、昭和40年をもって工事が完了し、貝塚港湾の大規模整備が実現されました。

貝塚港は、この間の昭和37年から大阪府の管理となりました。



昭和初期の貝塚港

発刊にあたって



(一社)大阪府港湾協会 会長
竹内 廣行

大阪府港湾協会は、本年、めでたく創立60周年を迎えることとなりました。これもひとえに、会員並びに関係の皆様の多大なるご支援とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

当協会は、昭和38年12月、大阪府泉州海岸の臨海地域の開発が積極的に進められる中、府営港湾の振興対策を官民一体となって強力に推進し、地域経済の発展や府民生活の向上に寄与することを目的として発足いたしました。

以来、地元自治体と事業者が一丸となって、府営港湾の整備充実に係る要望活動や各種セミナーの実施、他港視察等調査・研究、利用者相互の情報交換・親睦など、府営港湾の振興に向けた様々な取組みを推進してまいりました。

その間、府営港湾を巡る状況は、昭和43年、忠岡港、岸和田港、貝塚港が重要港湾「阪南港」に、また昭和44年、堺港と泉北港が特定重要港湾「堺泉北港」にそれぞれ統合され、物流機能強化のための岸壁や港湾空間の整備等が順調に進められました。

現在、地方港湾である二色港、泉佐野港、泉州港、尾崎港、淡輪港、深日港をあわせて、府営8港湾が、それぞれ特色ある地元に根差した港湾として重要な役割を果たしています。

なお、堺泉北港は平成23年、港湾法改正により国際拠点港湾となり、現在、国際的な総合物流拠点として、特に中古車輸出拠点として大きく成長を遂げております。

一方で、近年、日本の港湾は、東アジア諸港の台頭により、大きくその地位が揺らぐところとなり、とりわけ、大阪湾諸港の地位の低下は、関西経済・産業の成長に影響を及ぼすことが危惧されています。

そのような状況に対して、大阪府・大阪市においては、広域的な視点で連携した取り組みを進めるため、令和2年10月、府と市の港湾局を統合し大阪港湾局が設立されました。

当協会といたしましては、これを契機に、府営港湾の利用者が主体となった団体として、より一層機能を發揮するため、令和3年3月、これまでの任意団体から一般社団法人に移行し組織を強化するとともに、大阪港湾局との強固な連携のもと、会員の皆様と一緒にになって、創意工夫を凝らしながら、府営港湾の振興に精一杯取り組んでまいる所存でございます。

最後に、会員の皆様の益々のご繁栄を祈念申し上げますとともに、今後とも、府営港湾がより使い勝手の良い港となるよう、そして港湾地域、臨海部がにぎわい活性化するように、また少しでも皆様のお役に立つことができますよう、積極的に事業を進めてまいりますので、引き続き、ご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(一社)大阪府港湾協会 創立60周年に寄せて



大阪港湾局 局長
丸山 順也

一般社団法人大阪府港湾協会が創立60周年を迎えたことを心からお祝い申し上げますとともに、会長をはじめ、会員の皆様方におかれましては、日頃から港湾行政の推進に格別のご助力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴協会におかれましては、昭和38年に創立されて以来、府営港湾の整備及び維持管理に関する要望活動や、関係機関と連携したセミナー開催など、府営港湾の振興と地域経済の発展に多大な貢献をいただいておりますことに、重ねて感謝を申し上げます。

大阪・関西は、世界的な地域間競争に勝ち抜くため、西日本のゲートウェイとしての機能強化を図り、国土構造の東西二極化の一極として日本の成長を牽引していく必要があります。そのため、港湾においても大阪湾の中で縦割りにならず広域的な視点から港湾管理の一元化をめざすことから、その第一ステップとして、大阪府と大阪市の港湾局を統合し、令和2年10月に「大阪港湾局」を設立しました。

現在、大阪港湾局では、「大阪”みなと”ビジョン」を策定し、大阪港と府営港湾の強みを生かし、弱みを補完のうえ、ヒト・モノ・コトがより一層交流する拠点として発展させ、安全・安心で良好な港湾環境のもと、背後圏にまで賑わいを図り、関西経済の発展の一翼を担うことをめざし、貨物を集める集貨や新たな貨物を産み出す創貨の推進をはじめ、取扱貨物や定期航路の増加に向けた府市共同のポートセールスの充実強化などに取り組んでいます。

大阪は今、2025年大阪・関西万博を控え、国内はもとより世界からも熱い期待が寄せられています。大阪港湾局といたしましても、今後も利用者の皆様に選ばれる港でありつづけるために、各港の特性を活かしながら、カーボンニュートラルポートの形成による環境にやさしい港づくりなどにも取り組んで参りますので、貴協会の皆様方には、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、記念すべき創立60周年を契機とし、貴協会の今後ますますのご発展とご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



泉大津市長
南出 賢一

このたび、大阪府港湾協会が設立60周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げますとともに、港湾整備にご尽力いただいている関係機関に対しまして深く感謝を申し上げます。

本市は昨年、市制施行80周年を迎えた。数々の記念事業を実施いたしました。ここに、ご協力いただきました方々に厚くお礼を申し上げます。

また、本年は泉大津港湾振興会の設立50周年という記念の年でもあります。皆様方におかれましては、本振興会の発展に寄与していただき、誠にありがとうございます。

さて、本市の海は、古くは「小津の泊」と呼ばれ、奈良時代には官人の船の発着場として栄え、近世には遠浅の砂浜が豊かな漁場となっていました。明治の中頃から始まった毛布工業をはじめとする商工業の発展を図るため、昭和12年に大津港が整備され、その後、大津港を広げた泉北港と堺港が統合されて昭和44年に「堺泉北港」として特定重要港湾(平成23年に国際拠点港湾に名称変更)に指定されました。現在では、中古車の輸出において全国3位を誇るなど、関西経済の発展に寄与する港として重要な役割を担っています。

本市の近況に目を向けてみると、昨年、市制施行80周年記念事業として泉大津フェニックスにて官民連携・市民共創により「市民にぎわいフェスティバル」を開催しました。約1万3千人の方々が訪れ、港湾エリアへの親しみを感じていただける素晴らしい機会となりました。泉大津フェニックスでは今後も新たな産業の集積地やにぎわい創出エリアとしての整備が予定されており、本市にとって大きなポテンシャルを秘めた場所であると考えております。

そして本年、設計から運用に至るまで市民の皆様と一緒に考えた公園、シーパスパークが遂に完成しました。泉大津駅前新図書館シープラから駅西地区を通り、臨海線に面したシーパスパーク、さらに、小松緑道を進んだ先の円形広場スケートボードパークなど、市街中心部から港湾地区までが一つに繋がり、これまで以上に新たな可能性が生まれるエリアとなっています。

毛布と港湾のまちである本市においては、港湾地域の活性化が不可欠であり、今後も貴協会をはじめ関係機関のご協力をいただきながら港湾振興の更なる推進に努めて参ります。

結びにあたり、貴協会の今後の益々のご活躍とご発展を心より祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



泉佐野市長
千代松 大耕

大阪府港湾協会におかれましては、このたび創立60周年を迎えたことに心からお祝い申し上げます。

また、平素より関係機関、団体の皆様には並々ならぬご尽力により、港湾地域の安全と発展に大きく貢献されておりますことに、深く敬意と感謝を申し上げます。

さて、本市は、古くから漁業が盛んであり、中でも干鰯（ほしか）は地元の綿花栽培に重要な肥料として重宝され、タオル産業発展にも大きな影響を与えました。一方、海運業でも大阪から日本海側の港をめぐる北前船の船主集落として栄え、日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」の構成文化財は、今も人々の暮らしに豊かさをもたらしています。

これまでの臨海地域におきましては、漁港施設や食品コンビナートを中心とした産業が発展してきましたが、関西国際空港の開港以降は、その対岸に多くの宿泊・商業施設が立ち並び、そして白く美しいマーブルビーチが広がり、非常に発展したエリアとなりました。

とりわけ、りんくうタウンは「国際医療交流の拠点づくり」の地域活性化総合特区として指定を受け、国際空港の玄関口にふさわしい「世界に羽ばたく国際都市泉佐野」を将来像に街づくりの推進を図っております。

りんくうタウンの北部に位置する泉佐野フィッシャーマンズ・ワーフ区域におきましては、いずみさの関空マリーナや青空市場、そして場外舟券発売場「ボートレースチケットショップりんくう」など、地域の活性化に繋がる施設が展開されており、今後も一層の賑わいづくりに取り組んで参りたいと考えております。

このように、国内外の交流・流通拠点として高いポテンシャルを有する本市臨海部は、りんくうタウン周辺を中心新たに活力となる施設や進出企業も増え、街づくり、賑わいづくりの観点からも大いに期待されるものであります。

貴協会におかれましては、引き続きお力添えを賜りますようお願いを申し上げますとともに、これまで積み上げてこられた実績をもとに、今後益々のご活躍とご発展を心よりご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



貝塚市長
酒井 了

大阪府港湾協会が創立60周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げますとともに、大阪港湾地域の発展に並々ならぬ御尽力を賜っておられる関係機関の各位に対し、深く感謝申し上げます。

さて、本市臨海地域では近年、貝塚港の整備に伴う工場用地埋立て事業の実施（昭和40年事業完了）、総合的発展を目的とした府営阪南港への統合（昭和43年）、物流拠点として阪南港貝塚地区における海外貿易船の入出港開始（昭和53年）、127企業の参画による貝塚港湾振興会の設立（昭和53年）、そして、産業集積促進地域の形成による水質汚濁の防止、環境保全のための広域下水処理場の建設などをを行う二色の浜環境整備事業と併せて新貝塚第1号岸壁（平成3年供用開始）～第3号岸壁（平成20年供用開始）の整備などが行われ、本市の産業振興に重要な役割を担ってまいりました。

特に府市連携により貝塚市の沖合で252haの埋立造成を行った二色の浜環境整備事業は、市の内陸部に立地していた工場の臨海部への高度化集積による大阪湾の水質保全や、広域下水処理場の建設による市域の枠を越えた広域的な環境保全への取組みなど、環境整備に主眼を置いた当時としては画期的な事業であり、市民や地域企業の環境意識の向上に大きく寄与したものと考えております。

なお、二色の浜環境整備事業により整備された海浜緑地を含む府営二色の浜公園では新たな指定管理者が決定し、今年度から20年間のパークマネジメント型指定管理による運営がスタートしております。

現在は公園の指定管理者や海水浴場開設者が「きれいで安全で誰もが楽しめる優しいビーチ」としての海辺の国際環境認証「Blue Flag」の取得に向けた活動を進めており、認証されれば関西では須磨海水浴場に次ぐ2番目、大阪府下では初めてのブルーフラッグビーチとなります。

認証のための重要項目の1つである「水質」については、工場の高度化集積による水質保全の効果が大きいと考えておらず、今後も官民が連携し阪南港をはじめとした臨海部の持続的発展と活性化に努めてまいりますので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、貴協会の益々の御活躍と御発展を心より祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



岸和田市長
永野 耕平

このたび、大阪府港湾協会が設立60周年を迎えたことを心よりお祝い申し上げます。

この間、貴協会による国家機関等をはじめとする関係機関への要望活動やポートセールス活動の展開等、府営港湾の振興、府域の産業経済の発展等のために様々な事業にご尽力を頂きましたことを、心より感謝申し上げます。

さて、岸和田市にとって臨海部は、歴史的に非常に重要な役割を担っており、海上交通による人的・物的な交流が、本市の発展に寄与してまいりました。

高度経済成長期を迎えようとする昭和30年代には様々な港湾整備事業が進められ、昭和41年に木材コンビナートや鉄工・金属工業等が集積する臨海工業地が完成し、企業集積が促進されました。また、平成2年には阪南港の内貿公共埠頭として阪南1区が整備されるなど、時代の要請に応じた臨海部の発展は、本市の産業振興に大きな役割を果たしてきました。

産業面に加えて、岸和田旧港地区では「歴史、文化とウォーターフロントの再生」をテーマに埋立も含めた再開発事業が進められ、平成9年に新たな港湾都市拠点が誕生しました。

現代におきましても、阪南2区(ちきりアイランド)における港湾物流の強化・拡充や企業誘致に向けた取組に加え、低未利用となっている木材コンビナート貯木場の遊休水面の利活用に向けて、関係機関とともに協議・調査に努めているところあります。

本市といたしましては、今後の更なる臨海部の活性化と産業の発展を図るため、大阪府や貴協会をはじめとした各関係機関と連携し、港湾振興施策の推進に尽力して参りたいと考えております。貴協会におかれましては、引き続きご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の今後の益々のご発展とご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



堺市長
永藤 英機

一般社団法人 大阪府港湾協会が創立60周年を迎えたことを心よりお祝い申し上げます。

貴協会は昭和38年の設立以来、国内外のポートセールス活動支援や港湾関係団体との交流、セミナーや講演会の開催など、様々な事業に取り組んでおられます。長年にわたり大阪府営港湾の振興と府域の産業経済の発展や府民生活の向上、沿岸市町の都市基盤整備に寄与されていることに深く敬意を表します。

堺市では、市政運営の大方針である「堺市基本計画2025」において、「人や企業を惹きつける都市魅力」を重点戦略に掲げています。海辺の特性を活かした魅力的な空間の形成やベイエリアと都心をつなぐ交通ネットワークの機能強化、海上交通の導入に向けた検討など、新たな交流や賑わいの創出に注力しています。また、臨海部へのマザー工場や研究開発拠点の誘致により更なる産業集積を図っています。

堺は、中世には海外交易の拠点として「黄金の日日」と称されるほどの繁栄を極めました。現在も堺泉北港は国際拠点港湾に指定され、国内でも有数の取扱貨物量を誇っています。

さらに、令和4年5月には、大阪港湾局による「農林水産物・食品輸出促進計画」が国土交通省に認定され、堺泉北港が全国で2港目の産直港湾となりました。本市も同港を核とした農産物・食品の輸出拡大に大いに期待しています。今後もベイエリアの魅力がより向上するよう取組を進めますので、貴協会には一層のお力添えをいただけますと幸いです。

結びにあたり、大阪府港湾協会にとって60周年という記念すべき年が更なる飛躍に向けての節目となりますことを祈念しまして、お祝いの言葉といたします。



泉南市長
山本 優真

大阪府港湾協会におかれましては、本年創立60周年を迎えたことを心からお祝い申し上げます。

本市の臨海部では関西国際空港の発展に伴い、人的、物流交流が飛躍的に高まっております。新型コロナウイルス感染症によりいったん冷え込んだ世界の旅行熱が国の水際対策緩和以降再び火がつきつつあり、インバウンドが急速に戻ってきており本市の活性化に期待しているところでございます。

特に本市における港湾地域には、民間活力を活用したPFI事業により泉南ロングパークが整備されており、国内外問わず多くの人で賑わいを創出しています。

また、水産物の取扱いを行っている漁港でございますが、りんくうタウンの東側に岡田漁港、西側には樽井漁港がそれぞれ発展し、いずれも大阪をはじめとする大都市圏への水産物供給拠点としての機能を果たすとともに、市民にとっても食宅を賑わす身近で新鮮な水産物を提供する親しみやすい施設となっております。

岡田漁港にございます岡田浦漁業協同組合においては、泉南市の激減するアナゴの保全・再生を図り水産業振興並びに市全域の活性化を図るためアナゴの養殖事業に取り組んでおり、養殖されたアナゴを「泉南あなご」と銘打ち地域ブランドとして確立しつつあります。

樽井漁港にございます樽井漁業協同組合においては、臨海部ならではの釣堀施設やサーフボードに似た形の大きなボードに立ちパドルで水をかきクルージングを楽しむサップ体験等の親水施設、地元食材を使用したバーベキュー施設の充実により賑わいを創出しています。

このようなことから本市の臨海部は、産業経渉の拠点としてのみならず観光振興の拠点としての面も併せ持っております大きな観光資源として本市が発展していくうえで欠かすことのできない要素であると考えております。

貴協会の長年にわたる臨海部並びに港湾地域の振興へのたゆみなきご努力に最大の敬意を表するとともに、その成果と経験が港湾関係者の財産となり、その恩恵にあずかることにあらためて感謝申し上げます。

結びに貴協会の益々のご発展とご活躍を祈念いたしますとともに、今後とも関係機関のみなさまには一層のご指導、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。



高石市長
畠中 政昭

大阪府港湾協会が創立60周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

貴協会におかれましては、昭和38年設立以来、大阪府営8港湾の振興、府域の産業経済の発展と府民生活の向上並びに沿岸市町の都市基盤整備に寄与するため、在阪国家機関をはじめとする関係機関への要望活動、府営港湾のポートセールス等、府営港湾の利用促進のため、様々な港湾振興事業に取り組まれておりますことに対し、深く感謝申し上げる次第でございます。

さて、本市にとっても重要である堺泉州北港は、昭和30年代から造成された堺・泉州臨海工業地帯の発展に伴う堺港と泉州北港の工業港としての大きな成長に始まり、昭和44年に先の2港が統合されてきました。堺市・高石市・泉大津市の3市にまたがっており、世界有数の経済規模を持つ大阪湾ベイエリアの一翼を担う国際拠点港湾として日本経済の発展に大きく寄与しております。

また、化学・鉄鋼・金属などの工場や発電所、ガスの輸入基地などが立地しており、西日本における中古自動車の輸出拠点としても取扱貨物量は順調に上昇推移しているとともに、カーボンニュートラルとして、LNGや水素、アンモニアなどの次世代エネルギーの輸入拠点化をめざすなど、今後とも堺泉州北港の発展に大きな期待をしております。

結びにあたりまして、港湾のより一層の発展のため、大阪府並びに貴協会をはじめ関係機関のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、貴協会の今後の益々のご発展をお祈りいたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。



田尻町長
栗山 美政

大阪府港湾協会が創立60周年を迎えたことを心からお祝い申し上げます。

田尻町は大阪湾に面するおよそ1.5キロメートル四方の小さな村として、明治22年に誕生しました。

明治から大正にかけては、泉州黄玉ねぎ栽培発祥の地として農業が盛んとなり、また大正から昭和にかけては、紡績業が大変栄え、豊かなまちとして発展してきました。

その後、平成に入り沖合には関西国際空港が建設され、沿岸部にはりんくうタウンの造成や漁港の再整備など様相は大きく変化しました。

商業・宿泊・飲食施設などの総合的な利用が進むりんくうエリアは、田尻町の顔として、国際交流、来訪者の迎え入れ、住民同士の交流などを展開して活気が生まれています。

とりわけ沿岸部の中心に位置する田尻漁港は、大阪市内から50分以内の場所に位置している立地を生かし、国内外の観光客を対象とした観光漁業を実施しており、具体的な取組として、漁業者等が出店する日曜朝市の拡充・強化及び、日帰りバスターミナルや小学校の体験事業を受け入れる漁業体験事業の強化等の賑わいづくりとあわせて、貴協会と連携・協力して大阪湾周辺の活性化に向けて、尽力して参りたいと考えております。

結びにあたり、創立60周年を契機とされ、大阪府港湾協会の今後益々のご活躍とご発展を心より祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



忠岡町長
杉原 健士

このたび、大阪府港湾協会が創立60周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴協会におかれましては、大阪府営8港湾の振興、府域の産業経済の発展と府民生活の向上並びに沿岸市町の都市基盤整備に寄与することを目的とし、官民の橋渡し役としての役割を担って、港湾拡大に伴う諸問題の解決や港湾整備の充実にご尽力を頂いてまいりましたことに対し、深く感謝を申し上げます。

忠岡町は大阪府の西南部、大阪湾に面する臨海平坦部に位置し、北東は大津川・牛滝川を境界に泉大津市・和泉市、南西は岸和田市に隣接していて、東西に長く、南北に短い地形で、その面積は3.97km²と「日本一小さいまち」であります。

現在、我が国の産業構造の変化や内需停滞による輸入木材そのものの減少、更には価格競争の激化も加わり、企業誘致だけではなく産業振興の見地からも非常に厳しい状況下におかれています。

しかしながら、港は地域産業の発展並びに町民生活の向上につながる重要な都市基盤の一つであることから、漁業協同組合を中心とした忠岡みなとマーケットの開催や商工会と連携して地元の農水産物を使った町民料理教室などを通じ、地域活性化に努めてまいります。今後も、臨海部の振興発展並びに地域経済の活性化に向け、引き続き港湾振興事業に取り組んで参りたいと存じます。

結びに、貴協会の今後益々のご活躍とご発展を心よりご祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



阪南市長
水野 謙二

大阪府港湾協会設立60周年、心よりお祝い申し上げます。

60年の長きにわたり今まで貴協会および各関係機関が築き上げた大阪府の港湾は、阪南市にとって本当に重要な拠点となることは言うまでもありません。

貴協会が大阪湾周辺の発展に並々ならぬご尽力を賜りましたことにつきましては、多大なる敬意を示すとともに深い感謝の意を表する次第です。

阪南市の下莊漁港、西鳥取漁港、尾崎港では、大阪府内では珍しい牡蠣や海苔・わかめの養殖を始め、いかなご、ちりめんの漁業が盛んに行われています。

こうした阪南市での、豊かな自然に根ざした自慢の産業は、貴協会のご協力があってこそだと考えています。

また、観光の面では、春の山中渓の桜、夏の海水浴・ビーチバレー、秋の市内20町のやぐら・秋祭り、冬のお酒などは、やはり豊かな自然から生まれたものです。

令和4年に内閣府から「SDGs 未来都市」に選定され、アマモを中心としたブルーカーボンクレジットの認証、そして、生物多様性保全のOECMの認定につながります。本市は、子どもたちに大阪湾の豊かさを引き継ぐための努力を惜しません。

阪南市としても、貴協会のこれまでのご尽力に感謝申し上げるとともに、今後も連携・協力をを行い、大阪湾周辺の活性化に向けて、尽力していく決意であります。

最後に、港湾のさらなる振興にご協力賜りますとともに、貴協会のますますのご活躍を期待しまして、祝いの挨拶とさせていただきます。



岬町長
田代 堯

大阪府港湾協会が創立60周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

岬町は、淡路島を臨んだ大阪湾ベイエリアの中で、美しい海と海岸線を有し、和泉山系の豊かな緑に囲まれた自然環境に恵まれており、通勤可能な大阪都市圏に位置しながら、人と自然の多様な関りが求められることから、これからの時代に合った暮らしが出来る町です。

本町では、大阪府下で初となる「みなとオアシス」に登録し、地域の方々の交流や、観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを、促進しております。

特に深日港周辺の活性化の取組みとして、一度は途絶えた人の流れを取り戻すため深日洲本航路の再生として、平成29年度から内閣府の地方創生推進交付金を活用し、深日洲本ライナーの運航を実施しており、多くの方に船旅を楽しんでいただいております。引き続き、定期航路化に向けて取り組みを推進して参ります。

加えて、平成24年度から開催している深日港フェスティバルには町外から多くの方がお越しになるなど、みなとの賑わいを復活させる取り組みも併せて進めております。

また、近い将来発生が懸念される南海トラフ巨大地震や近年これまで経験したことがない災害が多数発生しており、その際、陸路の寸断により孤立化し、緊急物資の輸送が難しくなることが予想されます。こうした状況を踏まえ、「みなと」の機能を最大限活用した災害対応のための物流・人流ネットワークを「命のネットワーク」として、航路の重要性を認識しています。

引き続き、近畿各地の「みなと」との広域連携を進め「みなと」を核とした賑わいネットワークや、命のみなとネットワークの形成に向けた取り組みを行い、魅力あるまちづくりを行って参りたいと考えております。

今後も「みなと」を活用した取組みに対し、より一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員の皆様方のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げて、お祝いの言葉といたします。

大阪府営港湾の歩みと大阪府港湾協会設立の背景と経緯

1. 大阪府営港湾の発展経過

大阪府の約70kmの海岸には、かつて10の府営港湾が白砂青松の中に散在した。(現在は、港湾の統合や関西国際空港の完成に伴う泉州港の誕生などによって8つの府営港湾が存在する。)

これらの港湾は、古い歴史を持ちながら国土軸から離れていることや単調な遠浅海岸であること、さらに明治、大正年間に商権が大阪、神戸に移るなど、地理的、地形的条件や社会経済的条件により、その地位は低く地方の一船溜りあるいは漁港としての役割を果たすことにとどまっていた。

● 産業基盤強化のための港湾整備

戦後の混乱期を経て昭和30年代に入ると、わが国の積極的な経済政策の遂行により、産業・経済は自立より発展へと着実な成長を遂げつつあったが、阪神工業地帯は中小企業主体の産業構造であるため、その成長率が他の工業地帯に比して著しく低く、関西経済の地盤沈下として憂慮されていた。

このため、大阪府では産業体质の改善策として、基幹産業の誘致を骨子とする臨海工業地帯の造成をはじめ、下記の大規模プロジェクトを相前後して泉州海域に展開した。

- 堺泉北臨海工業地帯造成計画 重化学コンビナート
- 岸和田木材コンビナート計画 原木輸入～製品～販売の一貫システム
- 泉佐野食品コンビナート計画 原材料輸入～食品加工～流通加工の一貫システム
- 貝塚港修築及び工業用地造成計画
- 岸和田臨海工業用地造成計画

このような港湾と直結する産業基盤強化策が急ピッチで推進され、泉佐野以北の海域は高度利用がはかられ、港湾規模を飛躍的に拡大し、港湾の統廃合を行って堺泉北港及び阪南港は、それぞれ特定重要港湾、重要港湾として役割を担うこととなった。

堺泉北臨海工業用地の造成をはじめこれらの施策は、泉州沖にわが国所有のポンプ式浚渫船の1/3を集め、夜を日について埋立工事が進められ、昭和40年代前半には鉄鋼、石油などの基幹産業並びに関連企業の誘致を決定し、大型航路、泊地、専用岸壁などの港湾施設を整備して操業期に推移した。

● 商港機能の整備と総合港湾への脱皮

昭和40年代に入ると大阪湾沿岸並びに背後圏の産業の興隆と都市の発展は目覚ましく、外国貿易の振興とも相俟つて、公共埠頭の整備拡充並びにコンテナ、カーフェリー等の輸送革新への対応が緊急の課題となつた。

このため、昭和42年には運輸省第三港湾建設局はじめ大阪湾内の港湾管理者が協議を行い、「大阪港湾計画の基本構想」を策定し、湾内各港湾の秩序ある整備が図られた。

大阪府の港湾は、前述の経緯により臨海工場と結びついた工業港、専用埠頭機能の整備が先行し、商港機能の整備拡充が立遅れたことは否めないが、これを契機として、はじめて堺泉北港、阪南港に大規模な近代的商港埠頭計画を立案し、商港、工業港が融和し、バランスのとれた機能を持つ総合港湾に脱皮すべく以後は、公共埠頭の整備に重点が移された。整備計画は昭和43年、国の第3次港湾整備5ヶ年計画により実施され、以来、数次に亘り計画の改訂を行なながら着実に整備が進められていった。その結果、大阪湾ベイエリアの一翼を担う総合港湾として、関西経済の発展に寄与すべく商港機能の確保が徐々に図られることとなった。

しかしながら、その後、社会経済情勢の変化による経済のグローバル化や産業の空洞化の進展等に伴い、高度成長期に關西経済の発展を牽引してきた重厚長大型産業を中心とする臨海工業地帯において、大規模な低未利用地が発生した。

これを受け、平成4年、大阪湾ベイエリアの総合的開発整備を国家的プロジェクトとして推進する「大阪湾臨海地域開発整備法」が制定され、平成8年の「大阪ベイエリア整備計画」策定によって中核的施設の整備等が進められることとなった。また平成6年には関西国際空港が開港し、それに併せて泉州地域の交通網が格段に充実したものとなった。

その結果、大阪府の港湾においても大阪都心部への近接性を活かした企業誘致を展開するとともに、堺泉北港の助松埠頭においては、府営港湾初のガントリークレーンを有する多目的国際ターミナルが供用し、貨物のコンテナ化への対応が実現した。

また、輸出中古自動車等を取り扱う自動車専用船の利用も行われ、従来のフェリー航路に加えて内航RORO定期航路も開設されている。商港機能の核となるべく総合物流機能が助松埠頭において確立し、阪南港においても新貝塚埠頭に初の一般外貿埠頭を整備するなど、総合港湾としての機能が充実された。

●近年の動き

平成23年に港湾法が改正され港湾の港格が見直される中、堺泉北港は従来の「特定重要港湾」から「国際拠点港湾」に改められた。

また、令和3年10月に大阪港湾局が発足し、大阪港と府営港湾の事務が一元化されることとなったが、大阪港、府営港湾は、これまで、それぞれの特色ある地元に根差した港湾として発展してきた経過があり、それぞれの港の利用者が主体となった団体として引き続き活動を推進していくため、令和3年度末に任意団体から一般社団法人に移行とともに組織を強化した。

現在、大阪港湾局との強固な連携のもと、府営港湾利用者の団体として、利用者ニーズに即した提言や、相互の親睦・情報交換・研修活動など、エリアマネジメントの機能も発揮しながら、府営港湾の振興に努めている。

2. 協会設立の背景と経緯

● 設立の背景

港湾の発展経過に見られるように、大阪府の港湾は、昭和30年代後半から昭和40年代にかけて僅々10年余りの歳月で急激に拡大され、わが国有数の臨海工業地帯となった。

したがって、大型外航船出入港のための諸施設並びに外貿貨物取扱いのための手続上の諸機能も開港指定にはじまって、ゼロから整備する必要があった。

すなわち、船舶航行安全上必要な航路標識、信号所、巡視船等の設置配備や海上保安業務担当の出先機関の強化、さらには税関、検疫、動植物検疫、出入国管理等、国家出先機関の設置強化について、事務レベルの要望折衝が続けられた。これらは、立地企業の操業にあわせて実現する必要があったため、より強力な推進体制が必要と官民一体の対応が迫られた。

● 設立の経緯

この様な状勢の中で、昭和38年10月28日、大阪市内の国際ホテルにおいて、大阪府港湾協会設立発起人会が開催され、設立趣意書、会則、事業予算、事業計画、設立総会日程等が協議決定された。

<設立発起人>

堺地区	新洋海運(株) 八幡製鉄(株) 堀製鉄所 大阪瓦斯(株) 関西電力(株) (株)大運 セントラル硝子(株) 日立造船(株) 北坂石油(株)
泉北地区	ゼネラル石油(株)
岸和田地区	一心組運輸(株) 岸和田港湾荷役(株)
公共団体	大阪府 堀市

発起人会による緒準備、調整を経て設立総会は、昭和38年12月10日多数の参加者を得て、国際ホテルで開催され、会則その他の案件を決議、承認し、初代会長に大阪府副知事 高田敏一氏、副会長に阪口倉庫(株)社長 阪口英三氏、ゼネラル石油(株)取締役 国分一孝氏を選任し、ここに「大阪府港湾協会」は発足した。

大阪府港湾協会設立趣意書

大阪府が港湾課を設置いたしまして、本年は一七年目に当たります。その間、多数の港湾の整備に努め現在特定重要港湾1港、地方港湾9港を管理するに至りました。

戦後わが国の産業構造の変化に伴い近畿経済圏の構造改善が要望されるところとなり、大阪府におきましては、いち早く埠地先に重化学工業用地を造成し近畿経済圏体质改善の拠点として再出発し、幸いにして昨年7月特定重要港湾に指定されるに至りました。これを契機として、泉州海岸の臨海地域の開発が積極的に推進されるところとなり、木材港、漁港コンビナート等の建設が計画されるところとなりましたが、これらの港湾が、機能を充分に達成いたしますためには、その基本的整備と相まって

1. 信号所の設置
2. 浮標灯の整備
3. 保安監部要員の獲得
4. 航路浚渫
5. 推進の検測、海図の作成
6. 臨海工業地の港湾水域占用使用の相互調整
7. 埠頭、倉庫、物揚場等の合理的運用等の諸問題を迅速確実に処理調整することによって、初めてその目的を達成するものと存じます。

つきましては、これら事業を解決するために港湾各部門の衆知と総力の結集態勢を確立するため、その推進母体として、新たに関係者を打って、一丸とする「大阪府港湾協会」を設立せんとするものであります。

3. (一社) 大阪府港湾協会の概要

【設立】

昭和38年12月10日設立（任意団体）

令和3年3月29日設立（一般社団法人）

【目的】

府営港湾の振興対策を推進し、府域の産業経済の発展、府民生活の向上、並びに沿岸市町の都市基盤整備に寄与すること（定款第3条）

【主な事業】

ポートセミナーの開催

会員企業・団体等を対象としたセミナーや講演会の開催

府営港湾の利用促進を目的とした事業等への協力

他港視察等の港湾振興に関する調査・研究

国・関係機関等への要望活動

出版物の発行

【会員】

貿易・海運・港運・臨海工業等の港湾関係者及び地方公共団体等

■歴代会長・副会長・事務局長・港湾局長

	会長	副会長				事務局長	港湾課長 (S59～R2港湾局長、R3～理事)
昭和 39 年度	高田 敏一(大阪府副知事)	阪口 英三(阪口倉庫株式会社社長)	国分 一孝(ゼネラル石油㈱取締役)			大塚 哲夫	牧野 未広
昭和 40 年度	高田 敏一	阪口 英三	国分 一孝			大塚 哲夫	牧野 未広
昭和 41 年度	高田 敏一	阪口 英三	佃 豊之(ゼネラル石油㈱操製油所長)			小川 正一	牧野 未広
昭和 42 年度	高田 敏一	阪口 英三	佃 豊之			小川 正一	牧野 未広
昭和 43 年度	高田 敏一	阪口 英三	佃 豊之			小川 正一	吉川 弘
昭和 44 年度	高田 敏一	阪口 英三	佃 豊之			松田 与三市郎	吉川 弘
昭和 45 年度	高田 敏一	阪口 英三	宇野 善夫(ゼネラル石油㈱操製油所長)	茶谷 徳松(泉大津市長)		松田 与三市郎	吉川 弘
昭和 46 年度	高田 敏一	阪口 英三	宇野 善夫	茶谷 徳松		松田 与三市郎	吉川 弘
昭和 47 年度	山崎 政男(新洋海運㈱社長)		金原 博(興亜石油㈱大阪製油所長)	茶谷 徳松	中沢 光太郎(岸和田市長)	大賀 繁夫	吉川 弘
昭和 48 年度	山崎 政男		金原 博	茶谷 徳松	中沢 光太郎	大賀 繁夫	川畑 博信
昭和 49 年度	山崎 政男		朝山 晴夫(興亜石油㈱大阪製油所長)	茶谷 徳松	原 昇	大賀 繁夫	川畑 博信
昭和 50 年度	山崎 政男		朝山 晴夫	茶谷 徳松	原 昇	中林 斎	川畑 博信
昭和 51 年度	山崎 政男		幅 一弘(興亜石油㈱大阪製油所長)	茶谷 徳松	原 昇	中林 斎	川畑 博信
昭和 52 年度	山崎 政男		幅 一弘	茶谷 徳松	原 昇	堀内 浩	川畑 博信
昭和 53 年度	山崎 政男		吉成 雄一(興亜石油㈱大阪製油所長)	茶谷 徳松	原 昇	堀内 浩	船谷 栄二
昭和 54 年度	山崎 政男		吉成 雄一	茶谷 徳松	原 昇	堀内 浩	船谷 栄二
昭和 55 年度	山崎 政男		吉成 雄一	仲井 真二	原 昇	宮野 行雄	船谷 栄二
昭和 56 年度	山崎 政男		吉成 雄一	仲井 真二	原 昇	宮野 行雄	吉村 源逸
昭和 57 年度	山崎 政男		斉藤 慎治(興亜石油㈱大阪製油所長)	仲井 真二	原 昇	松井 岩夫	吉村 源逸
昭和 58 年度	山崎 政男		斉藤 慎治	仲井 真二	原 昇	松井 岩夫	吉村 源逸
昭和 59 年度	山崎 政男		斉藤 慎治	仲井 真二	原 昇	和田 悟	岡本 皓司
昭和 60 年度	山崎 政男		斉藤 慎治	仲井 真二	原 昇	和田 悟	岡本 皓司
昭和 61 年度	山崎 政男		斉藤 慎治	仲井 真二	原 昇	小西 健夫	岡本 皓司
昭和 62 年度	川平 韶一郎(前大阪港湾センター理事長)		瀬川 雅夫(興亜石油㈱大阪製油所長)	仲井 真二	原 昇	小西 健夫	喜多 樹
昭和 63 年度	牧野 文雄		瀬川 雅夫	仲井 真二	原 昇	町野 雅俊	喜多 樹
平成 1 年度	牧野 文雄		中村 保(コスモ石油㈱操製油所長)	龜岡 数一	原 昇	町野 雅俊	喜多 樹
平成 2 年度	牧野 文雄		中村 保	龜岡 数一	原 昇	町野 雅俊	村田 正也
平成 3 年度	牧野 文雄		久保田 健三(ゼネラル石油㈱操製油所長)	龜岡 数一	原 昇	森口 誠	村田 正也
平成 4 年度	牧野 文雄		村本 慎一(興亜石油㈱大阪製油所長)	龜岡 数一	原 昇	野口 正夫	梅原 悟
平成 5 年度	牧野 文雄		田中 秀勝(興亜石油㈱大阪製油所長)	茶谷 輝和	原 昇	野口 正夫	梅原 悟
平成 6 年度	牧野 文雄		福井 朗(コスモ石油㈱操製油所長)	茶谷 輝和	原 昇	野口 正夫	山本 巍
平成 7 年度	牧野 文雄		福井 朗	茶谷 輝和	原 昇	阪口 幸史郎	山本 巍
平成 8 年度	牧野 文雄		西村 博顕(ゼネラル石油㈱取締役操製油所長)	茶谷 輝和	原 昇	阪口 幸史郎	池野 誓男
平成 9 年度	牧野 文雄		西村 博顕	茶谷 輝和	原 昇	植村 博	池野 誓男
平成 10 年度	牧野 文雄		熊谷 篤司(興亜石油㈱大阪製油所長)	茶谷 輝和	原 昇	植村 博	池野 誓男
平成 11 年度	牧野 文雄		大道寺 宏(興亜石油㈱大阪製油所長)	茶谷 輝和	原 昇	植村 博	松本 弘
平成 12 年度	牧野 文雄		瓜生 通憲(コスモ石油㈱操製油所長)	茶谷 輝和	原 昇	中田 秀則	松本 弘
平成 13 年度	牧野 文雄		瓜生 通憲	茶谷 輝和	原 昇	中田 秀則	早川 克典
平成 14 年度	牧野 文雄		岩崎 正洋(東燃ゼネラル石油㈱工場長)	茶谷 輝和	原 昇	中田 秀則	早川 克典
平成 15 年度	牧野 文雄	池野 誓男(堺北埠頭㈱社長)	岩崎 正洋	茶谷 輝和	原 昇	加太 久雄	横山 隆司
平成 16 年度	牧野 文雄	池野 誓男	前原 義彦(新日本石油㈱操製油所長)	茶谷 輝和	原 昇	中田 憲正	横山 隆司
平成 17 年度	牧野 文雄	池野 誓男(社大阪府タク事業協会会員)	鳴瀧 宣夫(新日本石油㈱操製油所長)	神谷 昇	原 昇	中田 憲正	小川 謙二
平成 18 年度	牧野 文雄	池野 誓男	丸川 元(コスモ石油㈱操製油所執行役員所長)	神谷 昇	野口 聖	澤野 均	小川 謙二
平成 19 年度	牧野 文雄	池野 誓男	藤岡 大明(コスモ石油㈱操製油所執行役員所長)	神谷 昇	野口 聖	澤野 均	古川 博司
平成 20 年度	金盛 弥	池野 誓男	小野田 泰(東燃ゼネラル石油㈱工場長)	神谷 昇	野口 聖	大門 芳一	古川 博司
平成 21 年度	金盛 弥	池野 誓男	小野田 泰(東燃ゼネラル石油㈱工場執行役員工場長)	神谷 昇	野口 聖	宮本 信治	中尾 恵昭
平成 22 年度	金盛 弥	池野 誓男	藤岡 大明(コスモ石油㈱操製油所常務執行役員所長)	神谷 昇	野口 聖	宮本 信治	中尾 恵昭
平成 23 年度	金盛 弥	池野 誓男	佐藤 薫(コスモ石油㈱操製油所長)	神谷 昇	野口 聖	宗野 茂	井上 博睦
平成 24 年度	金盛 弥	池野 誓男	竹下 嘉昭(大阪港湾石油㈱操製油所常務執行役員)	神谷 昇	野口 聖	宗野 茂	井上 博睦
平成 25 年度	金盛 弥	池野 誓男	竹下 嘉昭	伊藤 晴彦	野口 聖	神田 昌彦	井上 博睦
平成 26 年度	金盛 弥	池野 誓男	内野 一人(東燃ゼネラル石油㈱工場執行役員工場長)	伊藤 晴彦	信貴 芳則	神田 昌彦	井上 博睦
平成 27 年度	金盛 弥	池野 誓男	内野 一人	伊藤 晴彦	信貴 芳則	戸田 功	井上 博睦
平成 28 年度	金盛 弥	池野 誓男	佐久間 雄一郎(大阪港湾石油㈱操製油所常務執行役員)	伊藤 晴彦	信貴 芳則	戸田 功	辰谷 義明
平成 29 年度	金盛 弥	池野 誓男	佐久間 雄一郎	南出 賢一	信貴 芳則	戸田 功	辰谷 義明
平成 30 年度	横山 隆司	中田 憲正(堺北埠頭㈱代表取締役社長)	富田 優(コスモ石油㈱操製油所長)	南出 賢一	永野 耕平	坂田 文郎	福井 淳太
令和 1 年度	横山 隆司	中田 憲正	富田 優	南出 賢一	永野 耕平	坂田 文郎	福井 淳太
令和 2 年度	横山 隆司	中田 憲正	山下 義治(ENEOS㈱操製油所長)	南出 賢一	永野 耕平	北野 仁志	山田 順一
令和 3 年度	横山 隆司	中田 憲正	山下 義治	南出 賢一	永野 耕平	北野 仁志	佐藤 広章
令和 4 年度	横山 隆司	中田 憲正	高田 岳志(コスモ石油㈱操製油所長)	南出 賢一	永野 耕平	北野 仁志	佐藤 広章
令和 5 年度	竹内 廣行	中田 憲正	高田 岳志	南出 賢一	永野 耕平	北野 仁志	坂田 文郎

■他港視察

年 度	実 施 日	視 察 地	年 度	実 施 日	視 察 地
昭和39年	昭和40年3月23日～24日	名古屋港	7年	平成7年11月1日～2日	仙台港
40年	昭和40年11月24日～25日	水島港・高松港	8年	平成8年11月26日～28日	鹿児島港
41年	昭和41年11月1日～2日	伏木富山港	9年	平成9年10月30日～31日	新潟港
42年	昭和42年11月21日～22日	鹿島港	10年	平成10年11月9日～10日	川崎港
43年	昭和43年11月21日～22日	清水港	11年	平成11年11月3日～5日	博多港
45年	昭和45年11月25日～26日	松山港	12年	平成12年11月30日～12月1日	常陸那珂港
46年	昭和47年3月9日	高知港	13年	平成13年11月8日～9日	細島港
47年	昭和47年10月30日	境港	14年	平成14年11月11日～12日	仙台塙釜港
48年	昭和48年11月15日	北九州港	15年	平成15年11月6日～7日	横浜港
49年	昭和49年10月31日	仙台港・塙釜港	16年	平成16年10月28日～30日	北九州港・下関港
50年	昭和50年11月5日～6日	長崎港	17年	平成17年11月15日～16日	伏木富山港
51年	昭和51年11月5日～6日	博多港	18年	平成18年11月8日～9日	名古屋港・四日市港
52年	昭和52年10月27日～28日	新潟港	19年	平成19年11月1日～2日	川崎港・横浜港
53年	昭和53年11月9日～11日	北九州港	20年	平成20年11月20日～21日	清水港・御前崎港
54年	昭和54年11月15日～16日	清水港	21年	平成21年9月17日～18日	茨城港(常陸那珂港区)
55年	昭和55年10月23日～24日	徳島港	22年	平成22年8月25日～27日	北九州港・博多港
56年	昭和56年10月21日～24日	唐津港	23年	平成23年9月8日～9日	京都舞鶴港
57年	昭和57年10月28日～29日	松山港	24年	平成24年9月20日～21日	細島港・宮崎港
59年	昭和59年10月22日～24日	下関港	25年	平成25年9月2日～3日	横浜港
60年	昭和61年2月21日～22日	名古屋港	26年	平成26年9月18日～19日	苫小牧港・小樽港
61年	昭和62年1月22日～23日	千葉港	27年	平成27年9月10日～11日	広島港・吳港
62年	昭和62年11月26日～27日	横浜港・東京港	28年	平成28年9月8日～9日	四日市港・名古屋港
63年	昭和63年11月30日～12月2日	長崎港	29年	平成29年9月14日～15日	仙台塙釜港
平成1年	平成1年11月1日～2日	新潟港	30年	平成30年10月25日～26日	水島港・宇野港
2年	平成2年11月1日～2日	伏木富山港	令和1年	令和1年11月21日～22日	金沢港・伏木富山港
3年	平成3年11月7日～8日	清水港	2年		実施なし
4年	平成4年11月5日～6日	下関港	3年		実施なし
5年	平成5年10月28日～29日	横浜港	4年	令和4年11月10日～11日	三河港
6年	平成6年11月10日～11日	千葉港	5年(予定)	令和5年11月9日～10日	木更津港・横須賀港

写真で振り返る大阪府営港湾



堺泉北港

堺港区:昭和44年

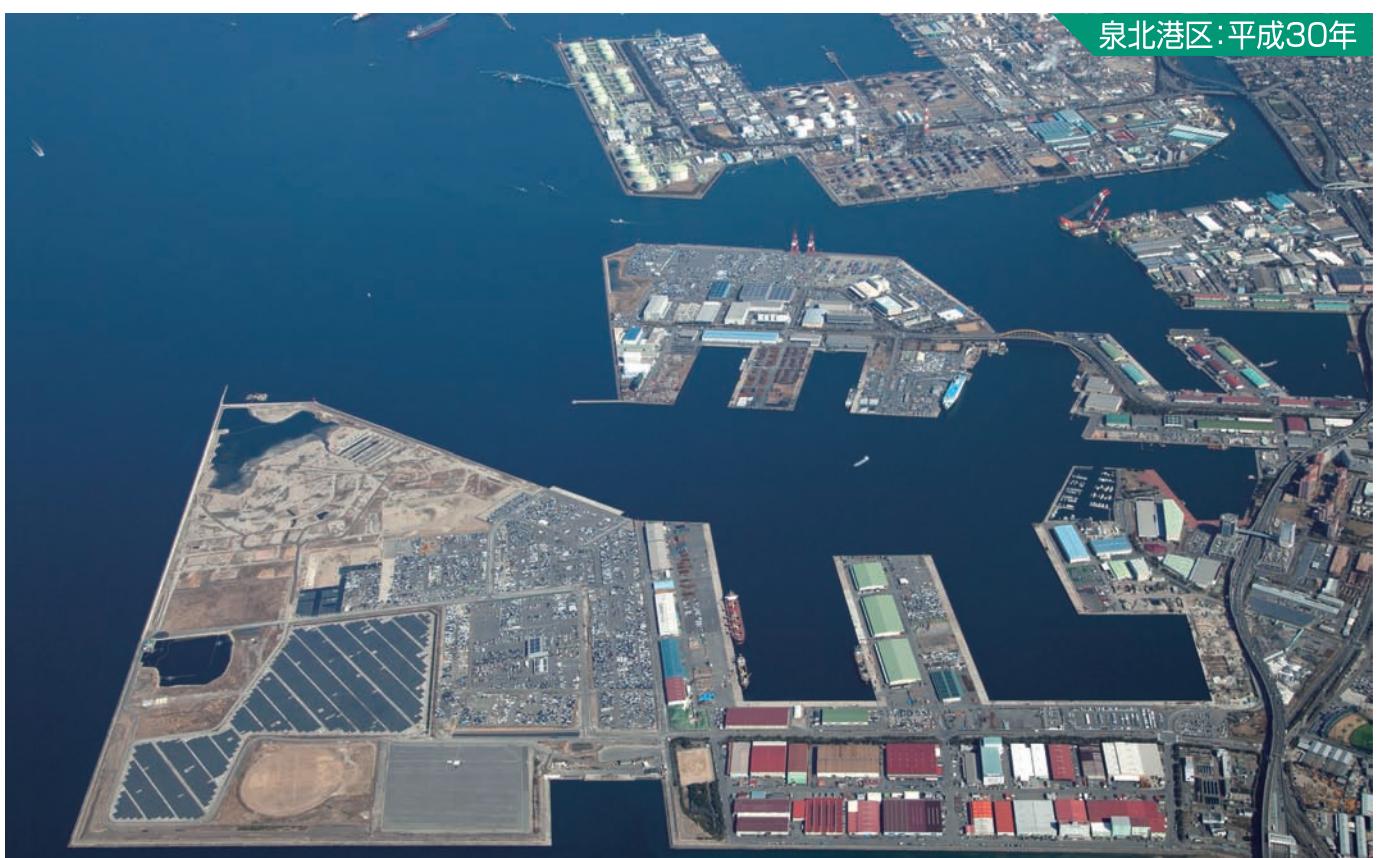


堺港区:平成30年





※泉北 1 区を大阪側から撮影



※和歌山側から撮影

写真で振り返る大阪府営港湾

堺泉北港 沿岸図の変遷

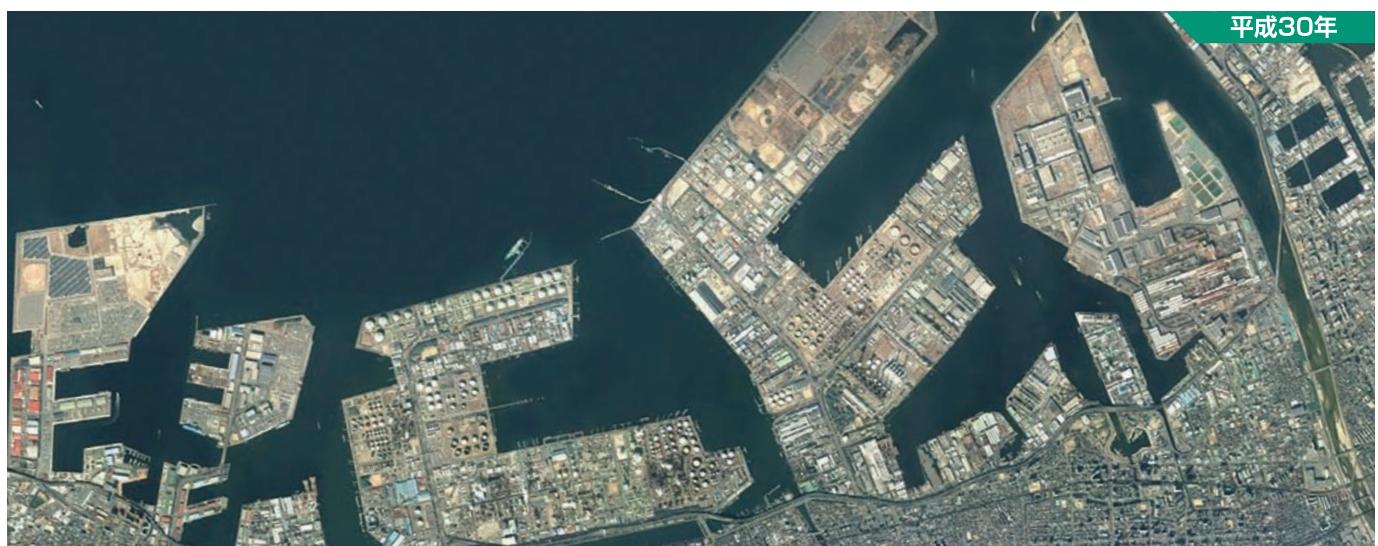
昭和32年



昭和43年



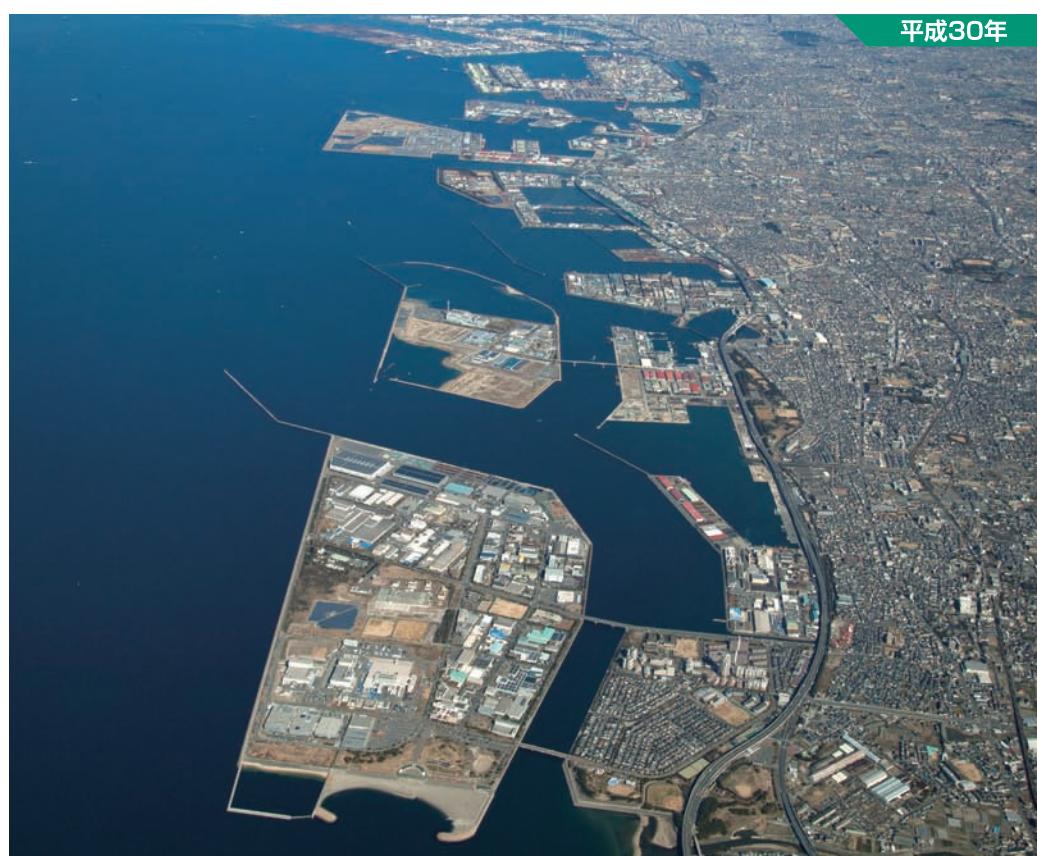
平成30年



阪南港



※木材コンビナートと鉄工団地を大阪側から撮影



※和歌山側から撮影

写真で振り返る大阪府営港湾

二色浜



泉佐野港



泉州港



尾崎港



淡輪港



深日港



写真で振り返る大阪府営港湾



堺泉北港の概要

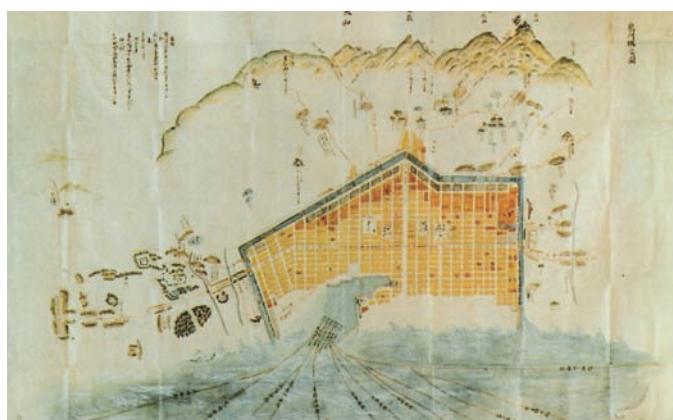
堺泉北港は、大阪湾東部沿岸に位置し、堺市、高石市、泉大津市の3市、約14kmにわたってまたがる港湾です。堺泉北港の前身は、古い歴史を有する堺港と近年整備された泉北港です。

堺港の歴史は、源平合戦時代に起源し、南北朝時代を経て対明貿易の中心地として発展しました。室町、安土・桃山時代には朱印船や南蛮船等の往来が活発となりましたが、徳川幕府の鎖国主義とともに衰微しました。

その後、昭和9年に関西を襲った室戸台風を受け、昭和11年に工業港修築の計画が始まり、昭和30年代前半から造成された堺泉北臨海工業地帯の発展に伴い、堺港・泉北港は近代的な工業港として大きな成長を遂げました。昭和44年に両港は統合され、現在は国際拠点港湾として、大阪湾ベイエリアの一翼を担う総合港湾として日本経済の発展に寄与しています。



南蛮屏風「南蛮交易之図」（16世紀中頃 戦国・安土桃山時代の堺港図模写 堀市所蔵）



泉州堺之図（1695年 江戸時代 元禄8年 堀市所蔵）



堺港新地繁栄之図（嘉永年代 堀市所蔵）



堺市指定有形文化財 住吉祭礼図屏風（右隻）（提供：堺市博物館）



明治時代の旧堺燈台（堺市中央図書館贈）



旧堺燈台（堺市中央図書館贈）



堺大浜蛤取り（堺市中央図書館贈）



大正時代の大浜（堺市中央図書館贈）



大正時代の高師浜海水浴場（写真提供：高石市）



浜寺での地引網の風景（写真提供：高石市）



戦前の泉大津旧港（写真提供：泉大津市）

右奥の建物がある場所は現在の泉大津市東港公園付近



大浜公会堂（堺市中央図書館贈）

写真で振り返る大阪府営港湾



昔なつかし潮湯のあった当時の大浜公園



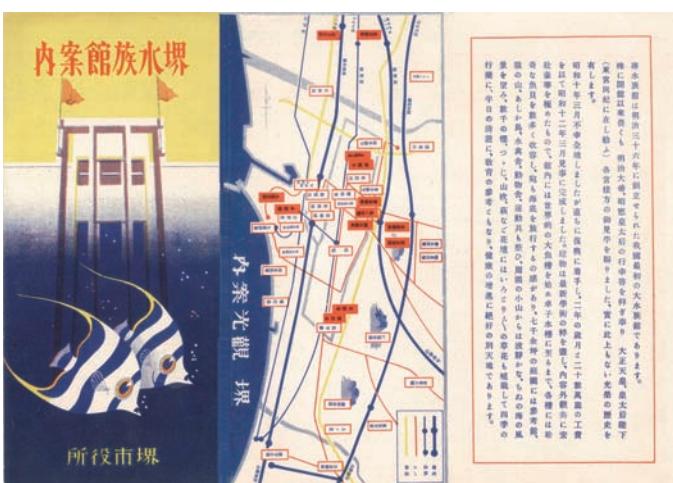
大浜潮湯及び家族湯（写真提供：堺市中央図書館贈）



昭和初期の堺旧港



堺水族館全景（写真提供：堺市中央図書館贈）



堺水族館案内図表面（堺市中央図書館贈）



堺水族館案内図中面 (堺市中央図書館贈)



阪南港の概要

阪南港は、大阪湾東部沿岸のほぼ中央に位置し、泉北郡忠岡町、岸和田市及び貝塚市の地先、約7kmにわたってまたがる港湾です。

阪南港の前身である、忠岡港、岸和田港及び貝塚港はそれぞれ特色ある歴史を重ねながら発展してきましたが、特に貝塚港は、既に安土桃山時代には堺港と共に西国諸国との間を行き交う千石船で賑わう商港として知られていました。

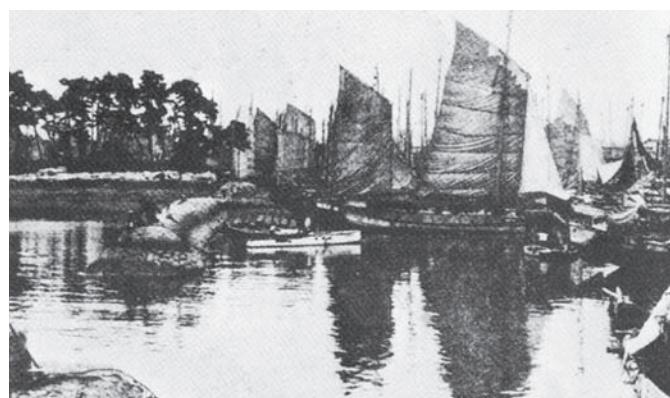
その後、この地域は明治から大正にかけて日本でも有数の紡績地帯として発展しましたが、近年に至り、全国的な木材の需要に対処するとともに防災面も考慮して、昭和41年には木材コンビナートを忠岡町と岸和田市地先に建設しました。これを契機として、昭和43年に忠岡港、岸和田港及び貝塚港の3つの港湾が統合され、重要港湾阪南港が誕生し、現在は、積極的な港湾振興及び背後地域と整合性を持たせた様々な計画が進められています。



明治時代の岸和田旧港の姿を描いたとされる絵図



昭和30年代初頭の忠岡港（写真提供：忠岡町）



昭和初期の岸和田港

（写真出展：岸和田港振興協会発行「30年のあゆみ」より）



昭和30年代初期の岸和田港全景

（写真出展：岸和田港振興協会発行「30年のあゆみ」より）



昭和初期の貝塚の浜

（写真出展：貝塚市教育委員会発行「貝塚百年のかおり」より）



貝塚港工業用地埋立竣工

（写真出展：貝塚市教育委員会発行「貝塚興今昔」より）

■大阪府港湾協会の歩み（60年史年表）

年表月日	事項
昭和38年 10.28	協会設立発起人会開催
12.10	設立総会
	第1回理事会
昭和39年 5.25	第2回理事会(事務局規定制定)
6.12	昭和39年通常総会(監事変更)
10.2	第3回理事会
10.20	「港湾ニュース」第1号発行
12.7	第1回港湾講演会(検疫行政の概要・外貿船の税関関係入出港手続・港則法・出入国管理事務について)
12.15	「港湾ニュース」第2号発行
昭和40年 2.20	「港湾ニュース」第3号発行
3.23~24	名古屋港視察
4.30	「港湾ニュース」第4号発行
6.15	第4回理事会
6.23	昭和40年度通常総会(役員変更)
7.20	「港湾ニュース」第5号発行
9.30	「港湾ニュース」第6号発行
10.12	第5回理事会
11.24~25	水島港・高松港・徳島フェリー視察
12.15	「港湾ニュース」第7号発行
昭和41年 6.17	第6回・第7回理事会
	昭和41年度通常総会(役員変更)
6.30	「港湾ニュース」第8号発行
9.26	「港湾ニュース」第9号発行
9.27	第8回理事会
11.1~2	伏木富山港視察
11.16	阪口副会長勲四等瑞宝章受賞
12.20	「港湾ニュース」第10号発行
昭和42年 3.31	「港湾ニュース」第11号発行
4.14	第2回港湾講演会(万国博の概要・米国のコンテナ埠頭)
6.13	第9回理事会・昭和42年度通常総会
8.21	「港湾ニュース」第12号発行
10.11	第10回理事会
11.21~22	鹿島港視察
11.30	「港湾ニュース」第13号発行
12.15	「港湾ニュース」第14号発行
昭和43年 3.31	「港湾ニュース」第15号発行
6.26	第11回理事会・昭和43年度通常総会(役員変更)
7.15	「港湾ニュース」第16号発行
9.25	創立5周年記念講演会(大阪府港湾の将来計画と欧米各国における港湾の状況、大阪湾の将来像について)
10.18	第12回理事会
11.21~22	清水港視察
12.20	「港湾ニュース」第17号発行
昭和44年 7.18	第13回理事会・昭和44年度通常総会
9.25	「港湾ニュース」第18号発行
10.12	第14回理事会
昭和45年 3.25	第5回港湾講演会(大阪港の現況と問題点、最近の港湾行政)
5.10	「港湾ニュース」第19号発行
6.25	第15回理事会・昭和45年度通常総会(規約改正・役員改選)
9.14	第6回港湾講演会(フェリーの現状と将来の展望)
10.13	第16回理事会
10.31	「港湾ニュース」第20号発行
11.25~26	松山港視察
昭和46年 3.24	第7回港湾講演会(大阪府の再開発・戸前受制度)
10.20	「港湾ニュース」第21号発行
昭和47年 2.14	第17回理事会
3.9	昭和46年度通常総会
	高知港視察
3.17	「港湾ニュース」第22号発行
5.18	第18回理事会
6.15	港湾講演会(物的流通の近代化と問題点)
	昭和47年度通常総会(特別会費徵収・会則改正・役員改選)
7.27	在阪国家関係機関等への要望活動
8.1	「港湾ニュース」第23号発行
9.20	第19回理事会
10.30	境港視察
昭和48年 7.17	第20回理事会・昭和48年度通常総会
9.5	「港湾ニュース」第24号発行

年表月日	事項
昭和48年 11.15	北九州港視察
12.20	「港湾ニュース」第25号発行
昭和49年 3.31	「港湾ニュース」第26号発行
5.29	第21回理事会・昭和49年度通常総会(役員改選)
9.20	「港湾ニュース」第27号発行
10.8	山崎会長 日本港湾協会港湾功労者賞受賞
10.31	仙台港・塩釜港視察
11.16	山崎会長 黄綬褒章受章
12.20	「港湾ニュース」第28号発行
昭和50年 1.20	運営委員会規程制定
3.25	昭和49年度港湾講演会(港湾計画と環境問題)
5.20	第22回理事会 昭和50年度通常総会
7.2	第1回運営委員会(委員長選任)
11.4	堺泉北港開港5周年・泉北地区供用開始8周年記念式典)
11.5~6	長崎港・大村空港視察
昭和51年 3.25	昭和50年度港湾講演会(港湾の環境保全)
	「港湾ニュース」第29号発行
6.15	第23回理事会・昭和51年度通常総会
7.26	第1回運営委員会
10.13	第2回運営委員会
10.25,27	国家機関等への要望活動
11.5~6	博多港視察
12.20	「港湾ニュース」第30号発行
昭和52年 3.23	昭和51年度港湾講演会(港湾の公共性と港湾財政)
6.10	第24回理事会・昭和52年度通常総会
8.18	第1回運営委員会
10.27~28	新潟港視察
11.16	第2回運営委員会
11.28~29,12.2~27	国家機関等への要望活動
昭和53年 2.28	国家機関等への要望活動
3.30	昭和52年度港湾講演会(最近の貿易事情)
	「港湾ニュース」第31号発行
6.7	第25回理事会・昭和53年度通常総会
9.8	第26回理事会
9.20	第1回運営委員会
10.26	港湾振興研究会発足、第1回研究会
11.9~11	北九州港視察
11.15	第2回港湾振興研究会
12.8,11.13	国家機関等への要望活動
12.21	第3回港湾振興研究会
昭和54年 1.18	第4回港湾振興研究会
2.22	第5回港湾振興研究会
3.22	第6回港湾振興研究会
3.31	「港湾ニュース」第32号発行
4.27	第7回港湾振興研究会
6.8	第27回理事会・昭和54年度通常総会
6.25	第8回港湾振興研究会(講演:大阪府下の道路整備について)
7.13	第1回運営委員会
7.26	第9回港湾振興研究会
9.27	第10回港湾振興研究会(講演:東南アジア3港の港湾事情調査について)
10.9	第2回運営委員会
10.31	第11回港湾振興研究会(講演:第6次港湾整備5ヵ年計画について)
11.15~16	清水港視察
11.22	第12回港湾振興研究会(講演:中国事情について)
12.17~21,25,27	国家機関等への要望活動
昭和55年 1.24	第13回港湾振興研究会(講演:関西新空港について)
2.25	第14回港湾振興研究会
3.31	「港湾ニュース」第33号発行
5.30	第28回理事会・昭和55年度通常総会
7.9	第1回運営委員会
10.23~24	徳島港・本四連絡架橋視察
10.31	港湾振興対策研究会懇談会(講演:大阪府総合計画概案について)
12.9	第2回運営委員会
12.16~20.27	国家機関等への要望活動
昭和56年 2.25	「港湾ニュース」第34号発行
5.22	第29回理事会・昭和56年度通常総会
9.16	第1回運営委員会

■大阪府港湾協会の歩み（60年史年表）

年表月日	事項
昭和56年 10.2	第30回理事会
10.21～24	唐津港・平戸視察
10.25	「港湾ニュース」第35号発行
11.24～26,12.22	国家関係機関等に対する要望活動
昭和57年 3.25	講演会開催(航空貨物輸送の概要・港湾の現況とその展望)
3.31	「港湾ニュース」第36号発行
4.27	第31回理事会・昭和57年度通常総会
9.22	第1回運営委員会
10.25	「港湾ニュース」第37号発行
10.28～29	松山港・伊方原子力発電所視察
12.17～24	国家関係機関等に対する要望活動
昭和58年 3.31	「港湾ニュース」第38号発行
6.14	第32回理事会・昭和58年度通常総会
9.30	第33回理事会
昭和59年 2.16	第34回理事会
6.11	第35回理事会
6.28	協会創立20周年記念総会(式典・講演会・密輸と税関・バレーボールと私・祝賀会) 「港湾ニュース」第39号・40号発行
10.22～24	下関港視察
11.30	「港湾ニュース」第41号発行
12.17～19	国家関係機関等に対する要望活動
昭和60年 2.8	記念講演(連雲港港の現状と将来)
3.31	「港湾ニュース」第42号発行
6.4	第36回理事会・昭和60年度通常総会(記念講演:関西国際空港について)
12.16～18	国家関係機関等に対する要望活動
昭和61年 2.21～22	名古屋港視察
3.31	「港湾ニュース」第43号発行
6.4	第37回理事会・昭和61年度通常総会(記念講演:ニューメディアの現状と動向)
7.28	阪南港・港湾振興連絡協議会設立
12.18～19	国家関係機関等に対する要望活動
昭和62年 1.22～23	千葉港視察
2.19	講演会(関西国際空港の着工と泉州経済の展望)
3.19	ポートセールスセミナー実施(九州)
3.31	「大阪府のみなと」第44号発行
7.17	第38回理事会・昭和62年度通常総会(記念講演:国際貨物の動きと関西国際空港)
11.9	「大阪府のみなと」第45号発行
11.26～27	横浜港・東京港視察
昭和63年 1.11～13	貨物誘致活動調査団を北九州へ派遣
2.2～11	姉妹港国際貨物調査団派遣(タンジュンペラク港・シンガポール港)
7.1	第39回理事会・昭和63年度通常総会(記念講演:大阪ベイエリアの開発について)
8.5	懇談会(タンジュン・ペラク港におけるコンテナ埠頭管理の現状と将来展望)
9.5	講演会(大阪ベイエリアの経済情勢について)
11.22	講演会(近畿地区における運輸取扱の現状と将来展望に関する調査研究について)
11.30～12.2	長崎港・長崎オランダ村視察
平成1年 3.1～2	貨物誘致調査団を東京へ派遣
3.31	「大阪府のみなと」第46号発行
4.22～28	国際港湾協会総会(米国マイアミ)へ派遣
7.5	第40回理事会・平成元年度通常総会(記念講演:臨空都市圏構想について)
11.1～2	新潟港視察
平成2年 2.6	港湾セミナー(旧港再開発について)
3.31	「大阪府のみなと」第47号発行
6.21	第41回理事会・平成2年度通常総会(記念講演:大阪湾ベイエリアについて)
7.23～24	第5回「海の祭典」シンポジウム(東京)へ参加
9.27	港湾講演会(タンジュン・ペラク港の現状について)
11.1～2	伏木富山港視察
11.14～16	国家関係機関等に対する要望活動
12.28	「大阪府のみなと」第48号発行
平成3年 3.4～5	港湾講演会(東京)へ参加
6.1	「大阪府のみなと」第49号発行
7.12	第42回理事会・平成3年度通常総会(記念講演:大阪湾長期構想について)
7.21～23	第6回「海の祭典」シンポジウム(新潟)へ参加
11.7～8	清水港視察
11.27～29	国家関係機関等に対する要望活動
平成4年 1.30	「大阪府のみなと」第50号発行
2.20～21	貨物誘致調査団を千葉港へ派遣
3.1～3	港湾講演会(東京)へ参加
3.25	港湾講演会(ベイ・リニューアル・ゾーンの整備について)

年表月日	事項
平成4年 6.11	第1回運営委員会
6.30	「大阪府のみなと」第51号発行
7.20～22	第7回「海の祭典」シンポジウム(仙台)へ参加
7.22	第43回理事会・平成4年度通常総会(記念講演:国際化時代の大坂の課題と展望について)
9.24	第2回運営委員会
10.27	港湾セミナー(港湾整備における民活事業について、開発銀行と港湾民活プロジェクトについて、民間都市機構における港湾関係業務について)
11.5～6	下関港視察
11.19	第3回運営委員会
11.30～12.2	国家関係機関等に対する要望活動
平成5年 2.	「大阪府のみなと」第52号発行
3.18	講演会(回遊都市・大阪パネルディスカッション、世界都市・大阪を先導するみなとづくり)
6.4	第1回運営委員会
6.11	第44回理事会・平成5年度通常総会(記念講演:大阪湾における物流の現状と課題)
	「大阪府のみなと」第53号発行
6.25	講演会(国際複合一貫輸送と港湾 チャイナ・ランド・ブリッジの現状と発展)
8.30	講演会(タンジュン・ペラク港の現状と将来について)
9.17	第2回運営委員会
10.22	第3回運営委員会
10.28～29	横浜港視察
11.18～19	国家関係機関等に対する要望活動
12.7	大阪府港湾協会創立30周年記念式典(記念講演:サッカー人生から学ぶ企業戦略)
	「大阪府のみなと」第54号(創立30周年記念特集号)発行
平成6年 3.8～9	港湾講演会(東京)へ参加
	「大阪府のみなと」第55号発行
6.3	第1回運営委員会
6.14	第45回理事会・平成6年度通常総会(記念講演:大阪産業振興戦略)
9.26	第2回運営委員会
10.31	第3回運営委員会
11.10～11	千葉港視察
11.17～21	国家関係機関等に対する要望活動
12.5	「大阪府のみなと」第56号発行
平成7年 3.17	大阪府ポートセミナー開催(大阪)
6.5	第1回運営委員会
6.	「大阪府のみなと」第57号発行
6.28	第46回理事会・平成7年度通常総会 (記念講演:中国と関西の経済関係)
9.18	第2回運営委員会
10.23	第3回運営委員会
11.1～2	仙台港・塩釜港視察
11.30～12.1	国家関係機関等に対する要望活動
12.15	「大阪府のみなと」第58号発行
平成8年 1.24	大阪府堺泉北港ポートセミナー(東京)開催
6.13	第1回運営委員会
7	「大阪府のみなと」第59号発行
7.19	第47回理事会・平成8年度通常総会 (記念講演:大阪府営港湾長期整備構想あすぽーと21について、近畿圏の最近における貿易動向の概要とりんくうタウンの動き)
9.20	第2回運営委員会
11.11	第3回運営委員会
11.26～28	鹿児島港視察
12.5～6	国家関係機関等に対する要望活動
平成9年 1.	「大阪府のみなと」第60号発行
2.13	大阪府堺泉北港ポートセミナー(東京)開催
2.25	大阪府堺泉北港ポートセミナー(大阪)開催
6.4	第1回運営委員会
6.	「大阪府のみなと」第61号発行
6.24	第48回理事会・平成9年度通常総会 (記念講演:大阪府営港湾をとりまく経済情勢)
9.24	第2回運営委員会
10.27	第3回運営委員会
10.30～31	新潟港視察
11.27～28	国家関係機関等に対する要望活動
平成10年 1.	「大阪府のみなと」第62号発行
6.11	第1回運営委員会
6.	「大阪府のみなと」第63号発行
7.3	第49回理事会・平成10年度通常総会(記念講演:最近の物流事情と今後の展望について～企業の多国籍化と国際物流)
9.28	第2回運営委員会
10.30	第3回運営委員会
11.9～10	川崎港視察
11.26～27	在阪国家機関等への要望活動

■大阪府港湾協会の歩み（60年史年表）

年表月日	事項
平成11年 2.	「大阪府のみなと」第64号発行
2.10	大阪府堺泉北港ポートセミナー(大阪)開催
2.16	大阪府堺泉北港ポートセミナー(東京)開催
6.15	第1回運営委員会
7.	「大阪府のみなと」第65号発行
7.6	第50回理事会・平成11年度通常総会(記念講演:最近の経済・金融情勢について)
9.8	第2回運営委員会
11.1	第3回運営委員会
11.3～5	博多港視察
11.24～30	在阪国家機関等への要望活動
平成12年 2.	「大阪府のみなと」第66号発行
2.9	大阪府堺泉北港ポートセミナー(大阪)開催
2.17	大阪府堺泉北港ポートセミナー(東京)開催
6.14	第1回運営委員会
7.	「大阪府のみなと」第67号発行
7.5	第51回理事会・平成12年通常総会(記念講演:港湾運送事業法の改正について)
9.12	第2回運営委員会
10.27	第3回運営委員会
11.22～24	在阪国家機関等への要望活動
11.30～12.1	常陸那珂港視察
平成13年 2.17	大阪府営港湾ポートセミナー(東京)開催(講演会:21世紀・国際物流のトレンド～“部流新時代”を勝ち残る)
3.7	大阪府営港湾ポートセミナー(大阪)開催
3.	「大阪府のみなと」第68号発行
6.14	第1回運営委員会
7.	「大阪府のみなと」第69号発行
7.6	第52回理事会・平成13年度通常総会(記念講演:カルフールジャパン関西における出店戦略について)
9.13	第2回運営委員会
10.31	第3回運営委員会
11.8～9	細島港視察
11.27・30	在阪国家機関等への要望活動
12.6	大阪府営港湾ポートセミナー(大阪)開催(講演:中国華東地域における経済・産業・物流)
平成14年 1.30	大阪府営港湾ポートセミナー(東京)開催(講演:グローバル時代における外航海運)
3.	「大阪府のみなと」第70号発行
5.21	牧野会長(社)日本港湾協会「港湾特別功労者」受賞
6.19	第1回運営委員会
7.	「大阪府のみなと」第71号発行
7.5	第53回理事会・平成14年度通常総会(記念講演:WTO加盟後の中国物流の課題と将来展望)
7.19	「海の日」を祝う集い
8.8	第2回運営委員会
9.5	第3回運営委員会
10.9	第4回運営委員会
10.	「大阪府のみなと」第72号発行
11.11～12	仙台塙釜港視察
11.28～29	在阪国家機関等への要望活動
平成15年 1.	「大阪府のみなと」第73号発行
2.4	大阪府営港湾ポートセミナー(東京)開催
2.13	大阪府営港湾ポートセミナー(大阪)開催
5.23	SARS緊急セミナー開催(パニックに陥らないためのSARSの正しい知識、大阪検疫所におけるSARSの対応について)
6.6	第1回運営委員会
7.	「大阪府のみなと」第74号発行
7.11	第54回理事会・平成15年度通常総会(記念講演:大阪府営港湾で構想する未来ビジョン～フェリー事業の立場から)
7.18	府営港湾国際化セミナー開催(天津海河両岸総合開発プロジェクトの概要について)
	「海の日」を祝う集い
8.5	ポート・ステート・コントロール(PSC)セミナー開催(わが国のPSCの概要について、PSCの実際の運用事例について)
8.11	第2回運営委員会
9.10	府営港湾防災(津波)セミナー開催(南海地震で想定される津波の正体・メカニズム、大阪府における地震・津波対策の取組みについて)
9.16	第3回運営委員会
10.	「大阪府のみなと」第75号発行
10.22	第4回運営委員会
11.6～7	横浜港視察
11.11～15	2003年堺泉北港ポートセールス訪中団派遣(天津市・大連市)
11.25～26・12.8	在阪国家機関等への要望活動
平成16年 1.	「大阪府のみなと」第76号発行
2.17	大阪府営港湾ポートセミナー(東京)開催(講演:フェリー・RORO船によるモーダルシフトの推進)
3.26	大阪府営港湾ポートセミナー(大阪)開催(講演:松下電器におけるグリーンロジスティクスの取組み)
6.8	第1回運営委員会
7.	「大阪府のみなと」第77号発行

年表 月日	事項
平成16年 7.9	第55回理事会・平成16年度通常総会(記念講演:ペイサイドにおける商業開発について～開発事例を中心として)
7.16	「海の日」を祝う集い
7.22	港湾保安対策セミナー開催(府営港湾における港湾保安対策について、国際航海船舶の保安確保について)
9.10	第2回運営委員会
10.	「大阪府のみなと」第78号発行
10.27	第3回運営委員会
10.28～30	北九州港・下関港視察
11.16～20	2004年堺泉北港ポートセールス訪中団派遣(天津市・青島市)
12.7・13	在阪国家機関等への要望活動
平成17年 1.	「大阪府のみなと」第79号発行
2.9	大阪府営港湾ポートセミナー(東京)開催(講演:Winning Together グローバル・ロジスティクス戦略)
2.18	大阪府営港湾ポートセミナー(大阪)開催(講演:臨海部における商業開発の最新動向について)
3.2	府営港湾国際化・ビジネス交流セミナー開催(講演:釜山機械産業の現状、釜山中小企業の現状を現地社長がありのまま語る、釜山港の最新事情について)
5.26	平成17年度主要事業説明会(平成17年度大阪府営港湾主要事業について、大阪府営港湾長期構想「あすぼーと21」について)
6.13	第1回運営委員会
7.	「大阪府のみなと」第80号発行
7.8	第56回理事会・平成17年度通常総会(記念講演:最近の景気動向と元気な会社)
7.15	「海の日」を祝う集い
	大阪府営港湾防災セミナー開催(東南海・南海地震に伴う津波被害と対策について、コンビナート地区における津波対策について)
7.31	「海の教室」大阪湾クルージング開催
9.7	第2回運営委員会(書面)
10.	「大阪府のみなと」第81号発行
10.30	宮崎行き大型フェリー船内見学と南九州観光PR・物産展開催
11.8	第3回運営委員会
11.15～19	2005年堺泉北港ポートセールス訪中団派遣(天津市 河北省)
11.15～16	伏木富山港視察
11.30・12.5	在阪国家機関等への要望活動
平成18年 1.	「大阪府のみなと」第82号発行
1.30	大阪府営港湾ポートセミナー(東京)開催(講演:堺泉北港中古車オークション事業／輸出中古車マーケットの現状と展望)
3.22	大阪府営港湾ポートセミナー(大阪)開催(講演:堺泉北港中古車オークション事業／輸出中古車マーケットの現状と展望)
3.24	府営港湾国際化セミナー開催(講演:躍動する中国最新経済事情～中国ビジネス最新動向)
5.29	平成18年度大阪府営港湾主要事業説明会(堺泉北港・阪南港の港湾計画、平成18年度大阪府営港湾主要事業について)
6.13	第1回運営委員会
7.	「大阪府のみなと」第83号発行
7.11	第57回理事会・平成18年度通常総会(記念講演:2006年の国際情勢を読む 世界の火薬庫～中東と東アジア)
9.7	第2回運営委員会
10.	「大阪府のみなと」第84号発行
10.21～22	「堺泉北港に帆船『海王丸』がやって来る」開催
10.25・27・31	在阪国家機関等への要望活動
11.8～9	名古屋港・四日市港視察
11.13～17	2006年堺泉北港ポートセールス訪中団派遣(青島市・大連市)
平成19年 1.	「大阪府のみなと」第85号発行
2.7	大阪府営港湾ポートセミナー(東京)開催(講演:日中間の海上物流について)
3.14	大阪府営港湾ポートセミナー(大阪)開催(講演:日中間の海上物流について)
3.19	府営港湾国際化セミナー開催(講演:進展するアジア国際分業に対応した国際物流戦略)
5.30	平成19年度大阪府営港湾主要事業説明会(堺泉北港・阪南港の港湾計画、平成19年度港湾・海岸施策のポイント)
6.15	第1回運営委員会
7.	「大阪府のみなと」第86号発行
7.12	第58回理事会・平成19年度通常総会(記念講演:外航海運の動向2007)
9.10	第2回運営委員会
9.24	堺泉北港船上見学クルージング開催(旧堺燈台復元完成記念)
10.	「大阪府のみなと」第87号発行
10.24・29・31	在阪国家機関等への要望活動
11.1～2	川崎港・横浜港視察
11.12～16	2007年堺泉北港ポートセールス訪中団派遣(青島市・寧波市)
12.18	府営港湾防災セミナー開催(講演:東南海・南海地震の津波被害予測と津波対策)
平成20年 1.	「大阪府のみなと」第88号発行
2.4	大阪府営港湾ポートセミナー(東京)開催(講演:外航海運の動向)
3.11	府営港湾国際化セミナー開催(講演:EUの拡大と港湾物流の変化)
3.25	大阪府営港湾ポートセミナー(大阪)開催(講演:アジアにおける物流の現状と将来展望)
6.16	第1回運営委員会
7.	「大阪府のみなと」第89号発行
7.28	第59回理事会・平成20年度通常総会(記念講演:最近の経済動向と今後の見通し)
9.26	第2回運営委員会
10.	「大阪府のみなと」第90号発行
11.5・7・19	在阪国家機関等への要望活動
11.8	堺泉北港クルージング～泉大津フェニックスバス見学と船上見学開催

■大阪府港湾協会の歩み（60年史年表）

年表月日	事項
平成20年 11.10～14	2008年堺泉北港ポートセールス訪中団派遣(福建省廈門市・福州市)
11.20～21	清水港・御前崎港視察
平成21年 1.	「大阪府のみなと」第91号発行
1.30	堺泉北港エコポートセミナー開催(基調講演:今、環境の時代を考える)
2.5	大阪府営港湾ポートセミナー(東京)開催(講演:金融危機下における世界経済と貿易・投資の動向)
3.12	大阪府営港湾国際化セミナー開催(講演:金融危機下における世界経済と貿易・投資の動向)
3.24	平成20年度第3回運営委員会
3.25	大阪府営港湾ポートセミナー(大阪)開催(講演:国際海上貨物輸送の動向と今後の見通し)
6.12	平成21年度第1回運営委員会
7.	「大阪府のみなと」第92号発行
7.14	第60回理事会・平成21年度通常総会 (記念講演:2015年「アセアン共同体」に向けた現状と展望～ベトナム・ラオス・カンボジアを中心にして)
8.21	堺泉北港開港40周年特別講演会開催(講演:日本の希望)
9.17～18	茨城港視察
9.29	平成21年度第2回運営委員会
10.	「大阪府のみなと」第93号発行
11.9～13	2009年堺泉北港ポートセールス訪中団派遣(江蘇省連雲港市・蘇州市)
12.22・24	在阪国家機関等への要望活動
平成22年 1.12・2.18	在阪国家機関等への要望活動
1.	「大阪府のみなと」第94号発行
1.27	大阪府営港湾ポートセミナー(東京)開催(講演:変貌する大阪湾ベイエリア・関西)
2.15	大阪府営港湾国際化セミナー開催(講演:中国をはじめアジア諸国の経済戦略と今後の見通し～日本経済回復への道)
3.24	平成21年度第3回運営委員会
3.25	大阪府営港湾ポートセミナー(大阪)開催(講演:中国経済の実態 その強さと弱点)
6.15	平成22年度第1回運営委員会
7.	「大阪府のみなと」第95号発行
7.5	第61回理事会・平成22年度通常総会(記念講演:港湾政策の現状と課題～阪神港の生き残りのために)
8.25～27	北九州港・博多港視察
10.	「大阪府のみなと」第96号発行
11.5	平成22年度第2回運営委員会
12.14・21・24	在阪国家機関等への要望活動
12.16	大阪府営港湾ポートセミナー(宮崎)開催(講演:モーダルシフトへの取組みについて)
平成23年 1.	「大阪府のみなと」第97号発行
2.2	大阪府営港湾ポートセミナー(大阪)開催(事業紹介)
3.18	大阪府営港湾国際経済セミナー開催(講演:中国経済の動向とVISTA諸国の台頭)
3.23	平成22年度第3回運営委員会
6.21	平成23年度第1回運営委員会
7.	「大阪府のみなと」第98号発行
7.20	第62回理事会・平成23年度通常総会(記念講演:大阪湾ベイエリアを中心とした関西における企業立地の動向について)
9.8～9	京都舞鶴港視察
10.	「大阪府のみなと」第99号発行
10.19	平成23年度第2回運営委員会
12.1・14・16	在阪国家機関等への要望活動
平成24年 1.	「大阪府のみなと」第100号発行
2.15	大阪府営港湾ポートセミナー(千葉)開催(事業紹介)
3.9	大阪府営港湾国際経済セミナー開催(講演:円高の推移と世界経済の今後の行方)
3.16	平成23年度第3回運営委員会
3.26	大阪府営港湾ポートセミナー(大阪)開催(事業紹介)
6.15	平成24年度第1回運営委員会
7.	「大阪府のみなと」第101号発行
7.11	第63回理事会・平成24年度通常総会 (記念講演:コンテナ戦略港湾のねらいと展望)
9.20～21	細島港・宮崎港視察
10.2	平成24年度第2回運営委員会
10.	「大阪府のみなと」第102号発行
10.18・11.5・14・15・27・30	在阪国家機関等への要望活動
11.21	大阪府営港湾ポートセミナー(東京)開催(西日本向け物流セミナー)
平成25年 1	「大阪府のみなと」第103号発行
2.4	大阪府営港湾国際経済セミナー開催(講演:中国・東南アジア物流の現状と今後～新政権発足後の中国経済を視野に)
3.12	平成24年度第3回運営委員会
3.21	大阪府営港湾ポートセミナー(大阪)開催(事業紹介)
6.19	平成25年度第1回運営委員会
7.	「大阪府のみなと」第104号発行
8.1	創立50周年記念 第64回理事会・平成25年度通常総会(記念講演:今、日本が直面する内外の課題)
9.2・3	横浜港視察
9.27	平成25年度第2回運営委員会
10.	「大阪府のみなと」第105号発行
10.21・28・11.11・18・22	在阪国家機関等への要望活動

年表	月日	事項
	11.25	大阪府営港湾ポートセミナー(東京)開催(講演:自動車運送事業の安全安心の確保について)
	11.27・28	港湾人材育成セミナー開催(ロジスティクス・システムの設計と演習)
平成26年	1.	「大阪府のみなと」第106号発行
	2.7	大阪府営港湾ポートセミナー(大阪)開催(講演:日本経済の現状と課題)
	2.13・14	港湾人材育成セミナー開催(実務者に必要な国内物流と国際物流の知識)
	3.11	大阪府営港湾国際経済セミナー開催(講演:ベトナムの最新経済事情、フジ矢のベトナム進出について)
	3.19	平成25年度第3回運営委員会
	6.4・5	港湾人材育成セミナー開催(サプライチェーンの設計と管理・運用技法)
	6.18	平成26年度第1回運営委員会
	7.	「大阪府のみなと」第107号発行
	7.15	第65回理事会・平成26年度通常総会(記念講演:日本の港湾政策再考-アジアの時代を踏まえて-)
	9.18・19	苫小牧港・小樽港視察
	10.	「大阪府のみなと」第108号発行
	10.3	平成26年度第2回運営委員会
	10.30・11.7・12.1・8	在阪国家機関等への要望活動
	11.27	大阪府営港湾ポートセミナー(東京)開催(講演:荷主側からのモーダルシフト推進～船会社側からのモーダルシフト提案～)
平成27年	1.	「大阪府のみなと」第109号発行
	2.10	大阪府営港湾ポートセミナー(大阪)開催(事業紹介)
	3.18	平成26年度第3回運営委員会
	3.23	大阪府営港湾国際経済セミナー開催(講演:初めての海外進出、海外事業立ち上げからの経験)
	6.11・12	港湾人材育成セミナー開催(国際輸送の実務と改善)
	6.23	平成27年度第1回運営委員会
	7.	「大阪府のみなと」第110号発行
	7.16	第66回理事会・平成27年度通常総会(記念講演:東京五輪の経済効果と日本経済の見通し)
	9.10・11	広島港・呉港視察
	10.	「大阪府のみなと」第111号発行
	10.20	平成27年度第2回運営委員会
	11.10	大阪府営港湾・大阪港共同セミナー(東京)開催(事業紹介)
	12.25・平成28年2.29	在阪国家機関等への要望活動
平成28年	1.	「大阪府のみなと」第112号発行
	2.9	大阪府営港湾・大阪港共同セミナー(大阪)開催(事業紹介)
	3.18	大阪府営港湾国際経済セミナー開催 (講演:ASEAN経済統合と進出日系企業の動向、ASEANにおける最新物流事情～メコン地域の連結性と物流の課題)
	3.25	平成27年度第3回運営委員会
	6.22	平成28年度第1回運営委員会
	7.	「大阪府のみなと」第113号発行
	7.13	第67回理事会・平成28年度通常総会(記念講演:世界経済と日本のゆくえ～問われる日本の真価～)
	9.8・9	四日市港・名古屋港視察
	10.	「大阪府のみなと」第114号発行
	10.7	平成28年度第2回運営委員会
	11.24・25	港湾人材育成セミナー開催(実践貿易実務)
	11.29	大阪府営港湾・大阪港共同セミナー(東京)開催(事業紹介)
	11.30・12.1・5	在阪国家機関等への要望活動
平成29年	1.	「大阪府のみなと」第115号発行
	2.15	大阪府営港湾・大阪港共同セミナー(大阪)開催(事業紹介)
	2.28	大阪府営港湾国際経済セミナー開催 (講演:海外展開・販路拡大のポイント～成功事例・失敗事例から学ぶ～、技術革新時代での海外進出～中堅企業の海外進出の実例と問題点～)
	3.22	平成28年度第3回運営委員会
	6.7	平成29年度第1回運営委員会
	7.	「大阪府のみなと」第116号発行
	7.11	第68回理事会・平成29年度通常総会(記念講演:これからの世界経済・日本経済の行方)
	9.14・15	仙台塙金港視察
	10.	「大阪府のみなと」第117号発行
	10.20	平成29年度第2回運営委員会
	11.30・12.1	港湾人材育成セミナー開催(安全保障の観点からの輸出管理)
	12.4	大阪府営港湾・大阪港共同セミナー(東京)開催(事業紹介)
	12.6・11.15	在阪国家機関等への要望活動
平成30年	1.	「大阪府のみなと」第118号発行
	2.14	大阪府営港湾・大阪港共同セミナー(大阪)開催(事業紹介)
	2.21	大阪府営港湾国際経済セミナー開催(講演:東南アジアの経済情勢と新興市場の動向、東南アジア・近海輸送の今後)
	3.20	平成29年度第3回運営委員会
	4.15	阪南港開港50周年
	6.20	平成30年度第1回運営委員会
	7.	「大阪府のみなと」第119号発行
	7.10	第69回理事会・平成30年度通常総会(記念講演:人工知能は未来の経済をどう変えるか?)
	8.29・30・9.19	在阪国家機関等への要望活動
	10.	「大阪府のみなと」第120号発行

■大阪府港湾協会の歩み（60年史年表）

年表 月日	事項
平成30年 10.25・26	水島港・宇野港視察
11.7	平成30年度第2回運営委員会
11.29	大阪府営港湾・大阪港共同セミナー〔東京〕開催(事業紹介)
12.6・7	港湾人材育成セミナー開催(実践貿易実務)
平成31年 1.	「大阪府のみなと」第121号発行
2.14	大阪府営港湾国際経済セミナー開催(講演:港湾と世界経済)
2.15	大阪府営港湾・大阪港共同セミナー〔大阪〕開催(事業紹介)
3.5	平成30年度第3回運営委員会
3.28	堺泉北港開港50周年
令和1年 6.14	令和元年度第1回運営委員会
7.	「大阪府のみなと」第122号発行
7.9	第70回理事会・令和元年度通常総会(記念講演:「浪速のカリスマ添乗員」が熱く語るほんまもんのサービスはこれや!)
9.19・9.20・令和2年1.30	在阪国家機関等への要望活動
10.	「大阪府のみなと」第123号発行
11.21・22	金沢港・伏木富山港視察
11.28	大阪府営港湾・大阪港共同セミナー〔東京〕開催(事業紹介)
令和2年 1.	「大阪府のみなと」第124号発行
1.20	大阪府営港湾・大阪港共同セミナー〔大阪〕開催(事業紹介)
3.25	令和元年度第2回運営委員会
5.19	第71回理事会・令和2年度通常総会(書面開催)
	令和2年度第1回運営委員会(書面開催)
7.	「大阪府のみなと」第125号発行
10.	「大阪府のみなと」第126号発行
10.19	令和2年度第2回運営委員会
11.4	第72回理事会(書面開催)
令和3年 1.	「大阪府のみなと」第127号発行
2.9	大阪みなとセミナー〔オンライン〕開催(事業紹介)
2.17	一般社団法人大阪府港湾協会 設立
3.29	第1回理事会・令和2年度臨時総会
7.	「大阪府のみなと」第128号発行
7.5	令和3年度第1回運営委員会(書面開催)
7.15	第2回理事会(書面開催)
7.29	令和3年度定時総会(書面開催)
10.	「大阪府のみなと」第129号発行
10.1	Webサイト「FRIEND & SHIP」リニューアル
11.18	令和3年度第2回運営委員会
11.22	大阪みなとセミナー〔大阪・オンライン〕開催(事業紹介)
令和4年 1.	「大阪府のみなと」第130号発行
1.21	在阪国家機関等への要望活動
2.8	大阪みなとセミナー〔奈良会場〕開催(事業紹介)
3.1	令和3年度第3回運営委員会(書面開催)
3.10	第3回理事会(書面開催)
3.22	令和3年度第2回総会(書面開催)
6.9	令和4年度第1回運営委員会
7.	「大阪府のみなと」第131号発行
7.14	第4回理事会・令和4年度定時総会(記念講演:涙と笑いのちんどん人生)
8.25	大阪みなとセミナー〔北九州〕開催(事業紹介)
10.	「大阪府のみなと」第132号発行
11.10・11	三河港視察
12.13	令和4年度第2回運営委員会
12.22	大阪みなとセミナー〔大阪・オンライン〕開催(事業紹介)
令和5年 1.	「大阪府のみなと」第133号発行
2.7	大阪みなとセミナー〔東京〕開催(事業紹介)
3.2	在阪国家機関等への要望活動
3.9	令和4年度第3回運営委員会
3.10	第5回理事会(書面開催)
3.31	令和4年度第2回総会(書面開催)
6.20	令和5年度第1回運営委員会
7.	「大阪府のみなと」第134号発行
7.7	大阪みなとセミナー〔奈良〕開催(事業紹介)
7.12	第6回理事会・令和5年度定時総会(記念講演:現代にも息づく寄席文化)
8.24	大阪みなとセミナー〔東京〕開催(事業紹介)
10.20	「大阪府のみなと」135号(創立60周年記念号)発行

令和5年度 大阪みなとセミナー(奈良会場、東京会場)を開催しました

大阪港湾局 計画整備部 振興課／泉州港湾・海岸部 総務運営課

大阪港湾局では、7月に奈良県、8月に東京都で大阪みなとセミナーを開催しました。

奈良会場では、阪九フェリー株式会社様、日本通運株式会社様、ジェトロ奈良貿易情報センター様にご講演いただきました。また、東京会場では、大王海運株式会社様、株式会社クボタ様にご講演いただきました。

大阪港湾局からは、大阪港・府営港湾の優位性として貨物の取扱状況やコンテナ・フェリー・RORO航路について、大阪港・府営港湾の取組みやインセンティブ等の紹介をしました。

講演終了後は、講演者への質問やセミナー参加者同士での情報交換を行う場として、情報交換会を実施し、多くの参加者にご出席いただきました。

【奈良会場】

- ◇開催日：令和5年7月7日（金）
- ◇会場：THE KASHIHARA（奈良県橿原市）
- ◇参加人数：81名
- ◇講演内容：

○「大阪みなとの取組みについて」

大阪港湾局 計画整備部長 高橋 寛

○事業紹介「阪九フェリーを活用したモーダルシフト戦略

～社会的・環境的変革～」

阪九フェリー株式会社 関西本部 貨物営業部 貨物課 係長 長野 裕一 氏

○事業紹介「大阪港から世界へ—海上混載（LCL）サービスのご利用について」

日本通運株式会社 大阪国際輸送支店 営業開発グループ 課長 永井 孝子 氏

○事業紹介「海外販路支援関連施策の紹介～奈良から世界へ～」

日本貿易振興機構（ジェトロ）奈良貿易情報センター 所長 木川 美樹子 氏



会場の様子（奈良会場）

【東京会場】

- ◇開催日：令和5年8月24日（木）
- ◇会場：ベルサール東京日本橋（東京都中央区）
- ◇参加人数：190名
- ◇講演内容：

○「大阪“みなと”の概要について」

大阪港湾局 計画整備部 利用促進担当部長 足立 裕介

○事業紹介「定期航路事業と2024年問題

（RO-RO船による物流改革のご提案）」

大王海運株式会社 代表取締役社長 曽我部 雅司 氏

○事業紹介「コンテナラウンドユース～環境への取り組み～」

株式会社クボタ 物流統括部 担当部長 武山 義知 氏



開会挨拶 大阪港湾局長（東京会場）

大阪湾クルーズを実施しました

大阪港湾局 計画調整部 振興課利用促進担当



(株)名門大洋フェリー



阪九フェリー(株)

際空港付近を通過、大阪湾を周遊し帰港する約2時間30分のルートで行われました。出港時には、泉大津市吹奏楽団によるお見送りの生演奏が行われ、船内で実施されたマジックショーやバルーンアート、じゃんけん大会にはたくさんの方が参加されました。大阪府広報担当副知事「もずやん」と阪九フェリー(株)のマスコットキャラクター「ふねこ」、泉大津市のマスコットキャラクター「おづみん」も登場し、参加者が写真撮影を楽しんでおられました。また、イベントの最中には、堺海上保安署の最新巡視艇「みのお」の放水訓練や、飛行訓練から関西国際空港へ帰還する航空機に遭遇といったサプライズがあり、歓声があがるなど、参加者が喜んでおられる姿が見られました。乗船された参加者からは「今まであまりフェリーのことを知らなかったが、今回のイベントがいいきっかけとなった」、「思っていたより運賃が安いと思ったので、次回は宿泊して利用したい」といったお声をいただきました。



巡視艇を眺める参加者の様子



もずやんとふねこ、おづみんによる下船時のお見送り

大阪港湾局では、令和5年7月9日(日)、23日(日)にフェリーの魅力をPRする「大阪湾クルーズ」を実施しました。

本イベントは、府営港湾(堺泉北港)及び大阪港に親しんでいただくとともに、物流や旅客輸送において大きな役割を担うフェリーをご紹介し、身近で手軽な乗り物であることやフェリーの安全性・利便性・快適さなどを体験いただくことを目的としたものです。

大阪湾クルーズは、昨年と同様、大阪港寄港2船社(株)フェリーさんふらわあ様、(株)名門大洋フェリー様)と、堺泉北港に就航する阪九フェリー(株)様にご協力いただき、3船社の運航船によるイベント実施となりました。(株)フェリーさんふらわあ様は下半期に実施予定)

(株)名門大洋フェリー様の定員300名(7月9日(日)実施)、阪九フェリー(株)様の定員450名(7月23日(日)実施)、計750名の募集に対し、計31,105名という多数のご応募をいただきました。

阪九フェリー(株)様の船舶による大阪湾クルーズは、泉大津フェリーターミナルを出港し、関西国

際空港付近を通過、大阪湾を周遊し帰港する約2時間30分のルートで行われました。出港時には、泉大津市吹奏楽団によるお見送りの生演奏が行われ、船内で実施されたマジックショーやバルーンアート、じゃんけん大会にはたくさんの方が参加されました。大阪府広報担当副知事「もずやん」と阪九フェリー(株)のマスコットキャラクター「ふねこ」、泉大津市のマスコットキャラクター「おづみん」も登場し、参加者が写真撮影を楽しんでおられました。また、イベントの最中には、堺海上保安署の最新巡視艇「みのお」の放水訓練や、飛行訓練から関西国際空港へ帰還する航空機に遭遇といったサプライズがあり、歓声があがるなど、参加者が喜んでおられる姿が見られました。乗船

された参加者からは「今まであまりフェリーのことを知らなかったが、今回のイベントがいいきっかけとなった」、「思っていたより運賃が安いと思ったので、次回は宿泊して利用したい」といったお声をいただきました。

令和5年度定時総会

(一社)大阪府港湾協会事務局

令和5年7月12日(水)に関空泉大津ワシントンホテルにおいて、令和5年度定時総会を下記のとおり開催しました。当日は167名(出席者92名、委任状提出者75名)の参加を得て、盛大に執り行うことができました。

【令和5年度定時総会】

- 1 開会挨拶 横山隆司 会長
- 2 来賓祝辞 大阪港湾局 理事 坂田文郎 様
- 3 来賓紹介 同 泉州港湾・海岸部長 富井浩一 様
同 泉州港湾・海岸部 総務運営課長 竹内敏之 様
- 4 祝電披露
- 5 議 事 議 長:奥野通清 様(大阪府タグ事業協同組合 理事長)
第1号議案:令和4年度事業報告及び決算について
第2号議案:役員の選任について
第3号議案:定款の変更について
その他報告事項
以上、第1号から第3号議案について審議を行い原案どおり可決承認されました。



横山会長 開会挨拶



総会の様子



竹内新会長 就任挨拶

【記念講演会】

- テーマ 「現代にも息づく寄席文化」
- 落語 「お楽しみ」
- 講師 七代目 笑福亭松喬 氏



講演会の様子

【懇親会】

- 1 開会挨拶 竹内廣行 新会長
- 2 乾杯発声 中田正憲 副会長
(堺泉州北埠頭株式会社 代表取締役社長)
- 3 中締め 堀口純英 理事
(新洋海運株式会社 専務取締役)



懇親会の様子

LNG燃料タグボート「いしん」バンカリング100回を達成しました

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務運営課施設運営担当

商船三井が保有し、日本栄船が運航するLNG燃料タグボート「いしん」が7月12日、堺泉北港松の浜第1号岸壁で100回目のLNGバンカリング(燃料補給)を達成しました。同船は、2019年2月に全国で2番目、西日本で初のLNG燃料タグボートとして竣工後、大阪府タグ事業協同組合の所属船として、堺泉北港を中心に運航され、重油燃料船にひけをとらない実績をおさめ、今般、バンカリング100回の大台を達成しました。

記念セレモニーでは、大阪港湾局の坂田理事から「関係者の努力のたまもの」と感謝の意を表するとともに、大阪港湾局泉州港湾・海岸部の富井部長から(株)商船三井と燃料を供給している大阪ガス(株)に記念品((一社)大阪府港湾協会協賛)を贈呈しました。

また、大阪ガス(株)の竹森常務執行役員は、安全に燃料供給を進めてこられたのは関係者のおかげとのお話があり、(株)商船三井の向井常務執行役員は、LNG燃料による環境負荷軽減への貢献や今後とも内航定期航路等に関してLNG船が現実解になるとお話しがありました。

大阪港湾局では、今後とも「いしん」へのLNGバンカリングが円滑に継続されるよう支援していくとともに、関係者の皆様のご協力をいただきながら、カーボンニュートラルポートの着実な推進に向けて努力してまいります。



泉大津フェニックスにぎわいづくり委員会の取り組みについて

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務運営課 総務運営担当／事業推進課地域調整担当

大阪港湾局、泉大津市、泉大津商工会議所、大阪湾広域臨海環境整備センター、堺泉北埠頭株式会社で構成する「泉大津フェニックスにぎわいづくり委員会」では、野外コンサートをはじめ各種イベントの開催サポートや、「泉大津フェニックス」のPR活動等に取り組んでいます。

【野外コンサートについて】

泉大津フェニックスにおいて、夏の野外コンサートが開催されました！

本委員会では、イベント当日にはブースを設置し、泉大津フェニックスのPR活動を実施しました。泉大津フェニックスに関するアンケートを実施し、オリジナルタオルの配布を行いました。

また、会場周辺の動線整備や事業者様への情報発信を行い、イベントの

実施が事業者様の妨げとならないよう、安全面に配慮した環境づくり等に取り組みました。さらに、準備期間から開催当日までイベント主催者や各関係者との調整、会場整備などに取り組むことで、より円滑な開催が実現されるよう各方面のサポートを行いました。

引き続き、泉大津フェニックスの知名度向上・にぎわい創出に向けた取り組みを進めて参ります。



大阪府広報担当副知事
「もずやん」も駆け付けました！

- ◆8月26日（土）、27日（日）、9月2日（土）
RUSH BALL 2023（主催：グリーンズコーポレーション、読賣テレビ放送）
- ◆9月9日（土）10日（日）
OSAKA HAZIKETEMAZARE FESTIVAL 2023（主催：グリーンズコーポレーション）

水門等操作訓練の実施 ~来るべき災害に備えて~

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 事業推進課設備担当

【訓練の目的】

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部が管理する堺市から岬町まで泉州海岸延長約74kmには、水門、樋門、門扉、排水機場の防災施設が数多く設置されています。これらの施設は、平時は稼働することはありませんが、津波・高潮等の自然災害発生時には、迅速かつ確実な操作が求められる施設であるため、防災意識の向上、円滑な操作の習熟、施設保全の重要性の認識を目的とした操作訓練を毎年実施しています。

【訓練の実施】

台風襲来期前の令和5年6月1日から6月27日の延べ7日間、各市町の水門等操作担当者を交え、延べ

248名で操作訓練を実施しました。迅速かつ確実に操作できることを再確認すると共に、災害に備える意識をより一層高めました。

道路閉鎖に多大なる御指導・御協力を賜りました泉

大津警察署、岸和田警察署、貝塚警察署、泉佐野警察署ならびに泉南警察署の皆様には心より御礼申し上げます。

実施日	市町	対象施設	道路閉鎖
6月1日(木)	貝塚市	三昧川樋門、見落川水門、北境川水門・排水機場	
6月7日(水)	堺市	豊川水門、古川水門	
6月8日(木)	岬町	岬No.72、73門扉、朝日川樋門、新浜川排水機場、岬No.92樋門	★
6月9日(金)	泉大津市	豊川緑川樋門・排水機場、新川樋門・排水機場、八軒川樋門・排水機場	
6月14日(水)	泉佐野市	泉佐野No3-1門扉	★
	田尻町	田尻川水門・排水機場	
	泉南市	紺谷川水門	
	阪南市	車屋川樋門	
6月20日(火)	貝塚市	貝塚No.5-4門扉	★
6月27日(火)	忠岡町	忠岡No.2-2門扉	★
6月27日(火)	岸和田市	岸和田No.1-2門扉、天の川水門	★



コンテナ荷役機器「ストラドルキャリア」の納入(堺泉北港「助松コンテナヤード」)

堺泉北埠頭(株)

弊社が運営する助松コンテナターミナルは、外航コンテナ航路として「東南アジア・上海」、「新港・大連・烟台・青島」への定期航路がそれぞれ週1便就航し、また、これまで不定期にて運航していた内航フィーダー船「堺泉北港～神戸港間」が令和4年4月より定期化され、内航コンテナ船の利用も増加しており、大阪南部のコンテナ港として当港背後圏を中心に戸建ての取扱いを行っております。

助松コンテナヤードで使用している荷役機器については、既存のガントリーカレーン2基（大阪府所有・13列対応）に加え、令和元年度より、弊社にてストラドルキャリアの購入を順次進め、4基体制で稼働し、効率的な荷役作業と蔵置能力の向上を図っているところです。

しかしながら、稼働しているストラドルキャリアはいずれも中古機器で、物流を滞らせるリスクの軽減や機器の信頼

性の向上を図るため、新車への入れ替えを実施しております。この度、6月27日にストラドルキャリア1基が納入されました。

台船「第5わこう」に載せ、6月26日に広島県の尾道港を出港し、押し船「てんゆう」が第5わこうを押し、27日に堺泉北港第8号岸壁に着岸しました。弊社中田社長らがタイヤを酒で清め、安全を祈願いたしました。令和7年春頃には更に1基更新する計画です。機動性と積み上げ能力の高さを生かした保管スペースを有効に活用し、コンテナの取扱量増を図ってまいります。

今後とも堺泉北港の港湾運営会社として、利用者の声にスピード感をもって対応し、更なる利便性やサービスの向上に努め、港湾振興への貢献をめざしてまいります。



二色の浜海岸美化運動を実施しました

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務運営／阪南建設管理課管理担当

令和5年6月25日（日）に二色の浜海岸美化運動を実施しました。貝塚市内のボーイスカウトなど貝塚市内18団体等のみなさんにご協力いただき、総勢393名で二色の浜海岸をきれいにすることができました。

この活動は、昭和47年に貝塚市内のボーイスカウトの皆様が自主的に清掃活動を始められたのが最初であり、その後、平成3年から港湾局が主催者となり50年以上続いています。今後とも、このような活動を継続的に行い、地元の皆様とともに、安全できれいな海岸づくりに取り組んでまいります。



第10回深日港フェスティバルを開催しました

岬町 まちづくり戦略室企画地方創生担当

深日港～洲本港間の航路復活の機運の醸成を高めるとともに、地域の活性化を図るため、深日港において7月2日（日）に深日港フェスティバルを開催しました。

今年は天気に恵まれ、ステージでは「よしもと岬町遊びつくし隊」隊長のミサイルマン西代氏がMCを務め、教円太鼓（教円幼稚園）、太鼓集団 潮、よさこいソーラン美咲、淡輪キッズダンス・スマイリー、淡路島三熊踊り保存会 三熊連が、お笑いライブでは「よしもと岬町遊びつくし隊」副隊長のわんだーらんどさん、バタハリさんが登壇されました。また、洲本市・岬町特産品販売コーナー、飲食・物販販売コーナー（38店舗）、防災啓発・展示コーナー（24店舗）と多数のブースに出店・展示をいただきました！

会場イベントでは、大阪水上警察署警備艇かわちや近畿地方整備局港湾業務艇はやたま、インフィニティ見学会が開催されました。また、毎年ご好評をいただいている「うずしお観光船日本丸」による大阪湾ミニクルーズでは、子どもから大人まで多くの方にご乗船いただき、楽しんでいただくことが出来ました。

さらに、港が防災拠点としての役割を担うことをアピールするため、第二会場にて泉州南広域消防本部の消防フェアーも開催されました。はしご車への搭乗、子ども防火衣撮影、消防団のPRコーナーが出展されました。約7,000人の方にご来場いただき、大盛況のうちに幕を閉じました！



深日港フェスティバル出店の様子



うずしお観光船日本丸

海の写真コンクール、中学生海の絵画コンクール 府知事賞の授与

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務運営課総務運営担当

公益社団法人近畿海事広報協会が主催する、広く「海」をテーマにした写真を募集する「第45回海の写真コンクール」と、海の恩恵や海事産業について関心をもってもらうため、次代を担う中学生から募集を行う「第60回中学生海の絵画コンクール」が行われました。

近畿運輸局長賞等とともに、大阪府からも大阪府知事賞を授与しており、海の写真コンクールでは西本 親志さんが、中学生海の絵画コンクールでは山田 朔也さんが、それぞれ受賞されました。

また、海の写真コンクールにおいては、大阪府知事賞の受賞者の方には、一般社団法人大阪府港湾協会からも同協会賞(賞金)が授与されました。

他の受賞作品については、インターネットで公開されておりますので、是非ご覧ください。

○第45回海の写真コンクール ○第60回中学生海の絵画コンクール

公益社団法人近畿海事広報協会
ホームページ
<http://kinkikaiji.sakura.ne.jp/>

特選（大阪府知事賞）／西本 親志さん▶
【赤のリフレクション】



▲ 銀賞（大阪府知事賞）／山田 朔也さん
【見つけた】

堺の夏の風物詩「堺大魚夜市」が4年ぶりに現地開催されました

堺大魚夜市実行委員会

令和5年7月31日（月）、堺の夏の風物詩「堺大魚夜市」（主催：堺大魚夜市実行委員会）が大浜公園で4年ぶりに現地で開催され、「元気発信。おいでのよ堺！」をテーマに約10万人もの来場者で賑わいました。19時から始まる「魚セリ」は、夜市一番の見どころです。堺大魚夜市は、約700年前、泉州周辺地域の漁師が「航海の神」「漁業の神」として信仰していた住吉大社（大阪市住吉区）に航海の安全と豊漁を祈念し魚を奉納した際、同時に新鮮な魚を売り始めたのが起源といわれています。この伝統ある魚セリは誰でも気軽に参加できることが人気で、毎年、大勢の方が参加されます。会場には多数の大きなセリ台が一堂に並び、「安いよ、皆買うてや！」と威勢のいい掛け声が飛び交い、参加者は、鯛やサザエなど様々な魚介類を次々とセリ落とし楽しまれていました。

このほかにも、グルメコーナー、夜店などが多数出店とともに、ステージでは華やかなダンスや歌などの催しが行われました。また、「G7大阪・堺貿易大臣会合」・「大阪・関西万博」のPRベースの出店や、大浜



公園内に設置されている「擁護壇（ようごじ）」（江戸時代に発生した地震と津波への対応が刻まれた石碑）の見学説明会など、多彩な催しで会場は盛り上がり、夜遅くまで大勢の方で賑わいました。

「アドプト・シーサイド・尾崎漁港浜」認定式

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務運営課施設運営担当

令和5年8月24日（木）に「アドプト・シーサイド・尾崎漁港浜」認定式が行われました。

大阪府では「アドプト・プログラム」として、道路や河川、港湾などの美化清掃活動を、地域住民の皆様と協働で行っています。アドプトには、“○○を養子にする”という意味があります。「アドプト・シーサイド」は、大阪港湾局が管理する海岸や港湾の一定区間を養子にみたて、住民の皆様が里親となって養子の面倒を見ていく、つまり、皆さんが実施する海岸や港湾の美化活動に対して港湾局が支援していくというものです。

今回、尾崎漁業協同組合様にお願いする「アドプト・シーサイド・尾崎漁港浜」は、港湾局では23箇所目、阪南市では6件目のアドプト・シーサイドの認定となります。本認定式には、尾崎漁業協同組合 組合長 南様をはじめとする皆様にお越しいただきました。

「アドプト・シーサイド・尾崎漁港浜」の活動の輪を広げ、持続的に実施していただくことをお願いいたしますとともに、当局でも港湾美化活動へのサポートを継続していきますこので、府民の皆様方のご協力、お願いいたします。



大阪880万人訓練に合わせて地震津波災害対策訓練を実施しました

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務運営課危機管理担当

令和5年9月1日（金）に毎年恒例の「大阪880万人訓練」が行われ、大阪港湾局でも、それに合わせて地震津波災害対策訓練を実施しました。

当日13時30分に南海トラフ巨大地震が発生し、津波が大阪湾に襲来するという想定のもと、沿岸市町など関係機関と連携して訓練を行ったことで、改めて発災直後の初動対応の内容を確認、習熟することができました。

訓練では、まず机の下に潜るなど身を守る行動を取った後、職員一人一人が自身のスマートフォン等から安否確認システムにアクセスし、自分の安否状況を入力しました。その後、非常時の役割分担に従って班体制を確立し、班長の指揮のもと速やかに水門の閉鎖操作を行うとともに、迫り来る津波到達予想時間をにらみながら沿岸の鉄扉や柵門の閉鎖状況を確認するなど、緊迫感に満ちた訓練を行いました。

多くの沿岸市町では、職員が実際に水門や防潮鉄扉などを閉めに走り、30分おきにその状況を大阪港湾局に報告するなど、津波到達のタイムリミットを意識した実操作を行いました。

また、大規模災害発生時に、堺浜（堺2区）の一部の施設は、基幹的広域防災拠点として国の管理のもとで運用されることとなります。これに関する情報伝達訓練も行い、非常時の管理手続きの流れを再確認しました。

大阪港湾局では、地震津波による被害を最小限にとどめるべく、限られた時間で初動体制を整え、速やかに情報



訓練の様子



伝達を行うことができるよう、これまでにも繰り返し訓練を行ってきたところです。今後も、いついかなる時に自然災害が発生しても慌てることなく対応できるよう訓練を重ね、より良い初動対応のあり方や情報伝達方法を確立していきます。

ぼくたちのスマイル花火大作戦 !!

りんくうスマイルプロジェクト実行委員会



「子供の頃見た花火をまた見てみたいなあ。そういえば、今の泉州の子供達は、地元の花火を見たことが無いんだな…。」こんなふうに、夏の居酒屋さんで花火の話題になったことがきっかけとなった。

じゃあどうすれば、花火大会をすることができるんだろう？できるとこまでやってみよう！と動き始めたのは、どこにでもいる一般市民です。

市民の有志のボランティアが集まり、「りんくう花火実行委員会」を発足。会場になるビーチの美化と認知度向上を目的に会場予定のマーブルビーチの清掃活動「クリーンりんくう」を開始しました。このビーチをきれいにして、お客様をお迎えしようとの想いでした。

「子供に夢を」「りんくうに活力を」「観光の発展を」の3つを理念に募金活動や、花火の企画許認可等進めていきました。

反対意見や、馬鹿にされたことも沢山ありましたが、できるはずだと信じて活動を続けました。

翌年、資金不足と警備計画不足で警察からの許可が下りず開催は断念。悔しい思いもしましたが、2年かけて、2012年に第1回目を開催することができました。

音楽のリズムに誤差0.3秒まで合わせて打ち上げる花火。観客参加型花火を主としているのも特徴です。りんくう花火オリジナルの、「泉州タオル投げ大会」で、毎年タオル男、タオル女、そしてタオルキッズを誰が勝ちとなるのか楽しみです。

毎回、地元の小学生に花火教室を開催しています。花火クイズや、花火の歴史そして種類等を勉強して、曲、花火の種類、色、順番をプロデュースしてもらい、花火大会当日に打ち上げています。

2013年は、台風で当日中止。その翌年に、第2回目を開催することができました。翌年、規模が膨れ上がり、資金不足により中止。このころから、2年に1回しか開催できていない事を皆さんからご指摘頂くようになり、目指せ連続開催！と意気込み、その翌年からは、連続開催することができるようになりました。

「山のPL」「川の淀川」「海のりんくう」と有名になれるよう頑張ろうと口にしたものでした。

子供の夢を書いたものを、花火玉にくくりつけて一緒に打ち上げたり、子供さんが喜んでくれるよう世界一ニコちゃんマークのスマイル花火を打ち上げています。

やっと連続開催できるようになったかと安堵していると、次にやってきたのは、コロナです。

またか！と思いました。それでも知恵を絞り、コロナ禍は、航空会社と医療従事者にエールを送るオンライン花火と称したシークレット花火を開催することができました。

今年は、コロナ開け初めての開催。花火教室では、初めての花火リウムにチャレンジしました。やっと、観客を迎えた花火大会を、雨の中ではありましたが、開催することができました。

今まで、開催できたのも沢山の協力機関の皆様、そして多いときは数えることができるだけで450名のボランティアさん、陰で支えて下さっている人も含めるとそれ以上の皆様のおかげです。この場をお借りしまして、改めて感謝申しあげます。

最初は、市民の皆さんが来てくれたらしい。そして、大阪の皆さんができるだけたくさん来てくれたらしい。それから、日本中から来てくれたらしい。さらに、海外からお客様をお迎えできたらいいな。と、当初夢物語のように語っていたことが2019年準備も整っていない中で現実となり、これからは、インバウンドにも目を向け、このマーブルビーチの価値を上げたいと考えています。

私達は、この活動を通じて頑張っている大人がいれば、その姿を見ている子供達に、「諦めず頑張れば、夢は叶う！だから諦めないで頑張って！」このメッセージが伝わればいいなと思っています。



港内交通管制業務を大阪湾海上交通センターに統合しました

大阪海上保安監部堺海上保安署

大阪湾海上交通センター マリンタクトKOBE

令和5年10月1日、阪神港大阪区・堺泉北区及び神戸区の港内交通管制業務を大阪湾海上交通センターに統合しました。

統合後の航路通報・事前通報については下記をご覧ください。

～♪ マリンタクトKOBE ♪～

この愛称は、海上交通センターが船を正しく導く様子をオーケストラで指揮者がタクトを振る姿と捉え、“航路のハーモニー”を奏で続けることを願って名付けられました。



情報聴取義務海域(常時・異常気象時)



ポートアイランド(神戸市中央区)に移転・機能強化した
大阪湾海上交通センター

大阪湾北部海域は、VHFで提供する情報聴取義務海域(常時)が拡大します。

海上交通安全法適用海域では、
長さ50m以上の船舶、
港則法適用海域では、
総トン数500t以上の船舶
が対象船舶となります。

異常気象等時には関西国際空港周辺海域においても海上交通安全法による情報聴取義務海域が設定されます。

通報の連絡先について

航路通報

明石海峡航路

電話：078-302-7611 078-302-7612

事前通報

神戸中央航路(神戸区)

電話：078-302-7615

南港水路(大阪区)

電話：078-302-7613

令和5年10月1日～

堺水路・浜寺水路(堺泉北区)

電話：078-302-7614

大阪湾海上交通センター(マリンタクトKOBE) TEL 078-381-9118



水際取締対策強化への協力依頼

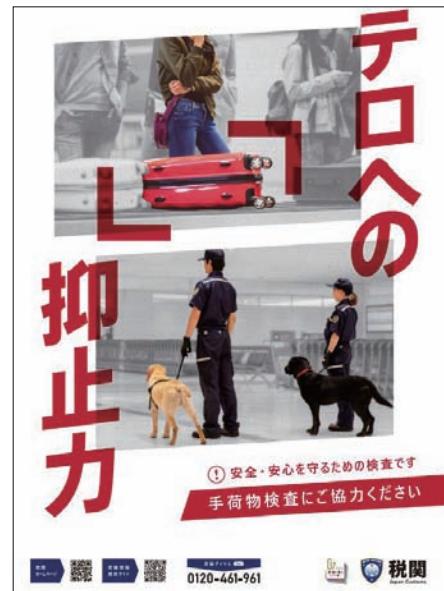
大阪税関 堺税關支署

本年10月以降において、G7関係閣僚会合（貿易大臣会合、外務大臣会合、内務・安全担当大臣会合）等の開催が日本国内の各地で予定されております。

各国の要人が集まる国際的なイベント開催時は、我が国がテロのターゲットとなる可能性が高まることから、税関では、テロ関連物資の密輸阻止を目的として、水際取締りを更に強化することとしております。

税関の取組

- 海外から日本国内に銃器や爆発物等のテロ関連物資が流入しないよう、**海外から輸入される貨物、国際郵便物及び入国旅客等の携帯品**に対する検査を強化しています。
- 海外からの航空機や船舶が入港する**空港や港湾での職員の巡回**を強化しています。



密輸情報
提供サイト



密輸ダイヤル

0120-461-961

テロの未然防止には、皆様のご協力が必要です。
不審なモノが輸入されているなど、身の回りで「何かおかしな光景」を目にした際には、最寄りの税関官署、又は税関密輸ダイヤルへご連絡ください。

INFORMATION

他港視察(木更津港・横須賀港)を実施します！

(一社)大阪府港湾協会事務局

(一社)大阪府港湾協会では、令和5年11月9日(木)～11月10日(金)の日程で木更津港(千葉県)、横須賀港(神奈川県)を視察します。両港は東京港や横浜港などとともに首都圏の産業や生活を支える重要港湾として発展しています。当日は港湾視察の他、千葉県木更津港湾事務所及び横須賀市港湾部からのレクチャーと意見交換、軍艦めぐり(クルーズ)などを予定しています。

【令和5年度 他港視察概要】

- 日 程 令和5年11月9日(木)～11月10日(金)
- 視察場所 木更津港(千葉県) 横須賀港(神奈川県)
- 行 程 新大阪駅(集合・解散)

《9日》

新大阪駅 ⇒ (新幹線) ⇒ 新横浜駅 (昼食: 横浜市街)
横浜市街 ⇒ (東京湾アクアライン) ⇒ 木更津港 (視察等)
木更津市街 (宿泊)

《10日》

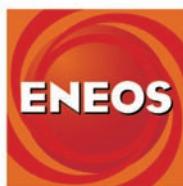
ホテル ⇒ 金谷港 ⇒ (東京湾フェリー) ⇒ 久里浜港 ⇒ 横須賀港 (視察等)
横須賀港軍艦めぐり(クルーズ) ⇒ 横須賀市街 (昼食・散策等)
新横浜駅 ⇒ (新幹線) ⇒ 新大阪駅



泉大津港湾振興会

会長 南出 賢一 (泉大津市長)
副会長 森本 譲 (大一機工(株)専務取締役)
副会長 中林 政一 (藤原運輸(株)大阪支店 統括営業部長)
副会長 中田 憲正 (堺泉北埠頭(株)代表取締役社長)

〒595-8686 泉大津市東雲町9-12
泉大津市政策推進部 地域経済課内
TEL.0725 (51) 7651 FAX.0725 (32) 6000



ENEOS

ENEOS株式会社 堺製油所

〒592-8550 大阪府堺市西区築港浜寺町1番地

大阪府タグ事業協同組合

理事長 奥野 通清 副理事長 戸村 銳治
副理事長 田村 啓造 専務理事 西口 栄一

泉大津市なぎさ町6番1号 きららセンタービル8階
TEL.0725 (31) 0521 FAX.0725 (31) 0578

構成組合員

関西港湾サービス株式会社	社長	井内 義之
内海曳船株式会社	社長	安本 浩之
日東タグ株式会社	社長	神本 貴司
三洋海事株式会社	社長	小磯 潮
日本海事興業株式会社	社長	中西 勝己
株式会社武丸海運	社長	吉嶺 武強
昭陽汽船株式会社	社長	戸村 銳治
日本栄船株式会社	社長	田村 啓造

貝塚港湾労働者福祉センターに
新食堂 OPEN !
お気軽に立ち寄りください！



二色産業団地
パークタウン
一島佐野 大阪臨海線
阪南3区
岸和田一
貝塚港湾労働者
福祉センター
貝塚市港25番地 Tel.072(431)5554

貝塚港湾振興会

会長 酒井 了 (貝塚市長)
副会長 東村 一夫 (貝塚商工会議所会頭)
副会長 小河原 賢二 (奥本製粉(株)代表取締役社長)

〒597-8585 貝塚市畠中1丁目17番1号
貝塚市都市整備部都市計画課内
TEL.072 (433) 7246 (直通)
FAX.072 (433) 7511 (代表)



岸和田港振興協会

会長 永野 耕平（岸和田市長）
〒596-8510 岸和田市岸城町7-1 (岸和田市魅力創造部産業政策課内)
TEL:072(423)9618 FAX:072(423)6925



堺港湾振興会

会長 堀畑 益敏（阪南倉庫株式会社代表取締役会長）
副会長 井内 義之（関西港湾サービス株式会社代表取締役社長）
副会長 奈良 和典（堺市産業振興局長）

〒592-8332 堺市西区石津西町26 堺市港湾事務所内
TEL.072(244)7368
FAX.072(244)3496



おかげさまで設立50周年を迎えることができました。

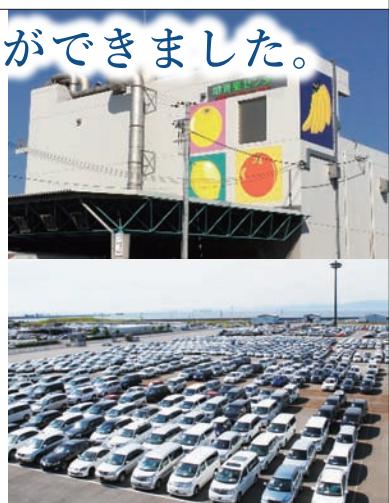
港湾地域における円滑な物流活動を支援することを通じて社会に貢献していきます。

公共埠頭運営 堺青果センター管理運営
上屋賃貸 中古車ストックヤード賃貸



SSF 堺泉北埠頭株式会社

SAKAI SEMBOKU WHARF CO.,LTD.
〒595-0055 泉大津市なぎさ町6-1
堺泉北港ポートサービスセンタービル9F
TEL.0725(20)2270 FAX.0725(20)2281
堺青果センター 〒590-0987 堺市堺区築港南町12番地
TEL.072(222)0391 FAX.072(232)1241



汐見埠頭協議会

会長 角野 錦吾（朝日海運株式会社）
副会長 甲斐 信之（間口運輸株式会社）
副会長 佐々野 健二（山九株式会社）

泉北港港運協議会

会長 衣畠 拓也（中谷運輸株式会社）

〒595-0075 泉大津市臨海町2丁目1 泉北5区港湾労働者福祉会館内
TEL 0725(21)4377 FAX 0725(21)4377

高石港湾振興会

会長 畑中 政昭（高石市長）

副会長 山内 和彦（高石商工会議所会頭）

副会長 篠原 宏敬（株式会社上組大阪支店堺出張所長）

〒592-8585 高石市加茂4丁目1番1号 高石市政策推進部経済課内
TEL 072 (265) 1001 FAX 072 (263) 8143

新門司 → 神戸 → 大阪
北九州 ← 神戸 → 大阪
新門司 六甲アイランド 泉大津

ご予約・お問い合わせ
新門司…093-481-6581
神戸…078-857-1211
泉大津…0725-22-7171

旅客 乗用車

新門司…093-481-6681
神戸…078-857-1223
泉大津…0725-22-6361

トラック

公式HP

チケットレスで、スムーズに。

スイートルーム

露天風呂

～泉大津ベイエリアのランドマーク～
きららセンタービル
テナント募集! (オフィス)
13坪～
クリニック区画も募集!

光ファイバー (NTTケイバティコム)

貸会議室(大・小)

個別空調・OA床

無料シャトルバス運行

眺望良好! 空室見学隨時OK!

詳細は右記管理会社まで
お気軽にお問い合わせ下さい (株)ベスト・プロパティ TEL.06-6261-0231
TEL.0725-21-4141



泉大津埠頭株式会社

代表取締役社長 南出 賢一

〒595-0055 泉大津市なぎさ町6番1号
TEL.0725(33)6851 FAX.0725(33)4425



会長 高田 威

〒592-8332 堺市西区石津西町26 堺市港湾事務所内
TEL.072(244)7368
FAX.072(244)3496

THE BEST FROM THE WORLD

いいものを世界から

服飾事業・不動産賃貸業・営業倉庫業

株式会社 カワサキ

<https://www.kawasaki-corp.co.jp> [上場コード 3045]
本社 〒595-0814 大阪府泉北郡忠岡町新浜2丁目9番10号
TEL.072-439-8011 FAX.072-439-8013

大阪支店・東京支店

南海本線 泉大津駅前 ホテル レイクアルスター アルザ泉大津



一品一品に旬の息吹にあふれた素材をふんだんに取り入れ、
職人が腕をふるう本格会席料理でおもてなし致します。
●ご宿泊・ご宴会予約、承ります●
TEL.0725-20-1121 FAX.0725-23-1959



東証プライム上場企業
住まいと暮らしを
より快適により便利に



近畿・東海・関東・
東北・中国・四国・
九州地区に
ネットワークを
展開中。

コナーナン商事株式会社 コナーナンホームページアドレス <http://hc-kohnan.com>
本部: 〒532-0004 大阪府大阪市淀川区西宮原2丁目2番17号 TEL 06-6397-1621(代)

海・陸 一貫くらしを支えます!



大阪運輸株式会社

本社 〒559-0013 大阪市住之江区御崎6-3-1

TEL.(06) 6682-8808(代表) FAX.(06) 6682-8818

URL. <http://www.osakaunyu.jp/> 大阪運輸 検索 

美しく安全な港を

堺泉北港及びその周辺海面の清掃等を行い、
航行船舶の安全と環境の向上に努めています。

※新規会員の申込を受け付けています。

一般社団法人 大阪府清港会

会長 高田 岳志

〒592-8331 堺市西区築港新町4丁3番地
TEL.072(244)7571 FAX.072(247)1314



曳船業・海上防災業・船舶代理店業・繫離船業
関西港湾サービス株式会社

代表取締役社長 井内 義之

本 社 / 〒590-0974 堺市堺区大浜北町3丁4番2号
TEL 072(238)3965 FAX 072(238)3968

コスモ石油株式会社 堺製油所

〒592-8331

大阪府堺市西区築港新町三丁16番地

TEL : 072-245-8551 FAX : 072-245-1249

URL : <http://www.cosmo-oil.co.jp>

「ありがとう」の気持ちが会社の名前です。
サンキュウ SINCE1918. 物流で世界を結ぶ
山九株式会社 泉北支店

港湾運送事業 輸出入海貨代理店業 倉庫業 國際複合一貫輸送業 船舶代理店業
(国内外海上輸送業 国内陸上輸送業 航空貨物取扱業 建設業)

支店	堺市西区浜寺石津町東2丁3-30	TEL.072(243)3900(代)
泉北港事務所	泉大津市汐見町111-5	TEL.0725(33)0539
泉北物流センター	堺市西区築港新町2丁6-8	TEL.072(243)0039
助松物流センター	泉大津市小津島町6番7	TEL.0725(23)7239
関西ケミカルセンター	高石市高砂2-1	TEL.072(268)3909

物流のあらゆるニーズにお応えいたします！

一般港湾運送事業・貨物運送取扱業・倉庫業・通関業
海運代理店業・梱包請負業・港湾荷役・損害保険代理業

 **新洋海運株式会社**

代表取締役社長 稲葉 徹志

本社：〒590-0954 大阪府堺市堺区大町東1丁1番10号
TEL：(072) 238-1161 FAX：(072) 223-4050
URL：<http://www.shin-yo.co.jp/>

支 店：南港・泉北 事業所：塩浜・大浜・桑名・宮崎
営業所：神戸・東京・博多 海外現地法人：ベトナム・タイ

大阪府公安委員会 第62000413号 (一社) 大阪府警備業協会会員



安心・安全・信頼 真心のサービスを提供
第一警備保障株式会社

代表取締役 阪本 敦史

〒595-0055 泉大津市なぎさ町2番10号

TEL 0725-33-6787
FAX 0725-33-7649

港湾運送業 倉庫業 建設業 通関業



Daito Co., Ltd.

LOGICAL & DYNAMIC

株式会社 大都

代表取締役社長 間口 豪

〒552-0022 大阪市港区海岸通2丁目1-11
TEL.06-6574-0125 <https://www.daito.biz/>

HARMONY & SINCERITY SINCE 1902



中谷運輸株式会社

代表取締役社長 中谷 庄司朗

〒552-0022 大阪市港区海岸通1丁目5番22号
TEL.06-6572-5021 FAX.06-6574-1023

海陸複合一貫輸送により物流戦略をサポートします。
RORO船定期航路利用によるモーダルシフトの促進



大王海運株式会社

代表取締役社長 曾我部 雅司

ISO9001:2008認証取得 ISO14001:2004認証取得

〒102-0071 東京都千代田区富士見二丁目2番5号 飯田橋メインビル
TEL.03-3261-6815 FAX.03-3261-7310

株式会社 武丸海運

代表取締役 吉嶺 武強

商 号 株式会社 武丸海運
英 文 商 号 TAKEMARU KAIUN CO.,LTD
本社所在地 大阪市大正区小林西2丁目5番8号
TEL.(06)6552-6281 FAX(06)6552-6288

事 業 内 容 船舶業、内航海運業、港湾運送事業、海上防災事業等



通関・海陸一貫輸送業
 **八興運輸株式会社**

〒595-0074 大阪府泉大津市小津島町4番地
TEL.0725-90-5385 FAX.0725-90-5485



間口運輸株式会社

創業 明治34年

代表取締役社長 間口 敦生

港湾運送事業 港湾荷役事業
倉庫業 通関業

〒552-0021 本社 大阪市港区築港2丁目8番34号



「大阪府のみなと」へのご意見・ご感想及び広告の募集

(一社)大阪府港湾協会では「大阪府のみなと」への皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

併せて「大阪府のみなと」への広告掲載も募集しております。

頂いた広告は会員情報欄に掲載します。

ご意見・ご感想や広告掲載に関するお問い合わせは、下記までお願ひいたします。

(一社)大阪府港湾協会

住所：〒595-0055 泉大津市なぎさ町6-1 堀川北港ポートサービスセンタービル10階

TEL.0725-20-0690 FAX.0725-21-7259 E-mail:kyoukai@fship.or.jp





府営港湾とその周辺にある「食のスポット」を巡ります。



ドリンクセツトの
日替わりランチが好評です。

カフェ 諸紗の杜

泉大津市なぎさ町6-1
(堺泉北港ポートサービスセンタービル1階)

●営業時間 9:00 ~ 14:00
●定休日 土・日・祝日



きららセンタービルの玄関を入って右手。
香り豊かな珈琲が自慢のお店！
お昼時は珈琲・紅茶などのドリンクがセットにな
った日替わりのランチプレートが好評！
朝はモーニングサービスを楽しむ人々で賑
わっています！



大阪港湾局のおひざ元、
堺泉北港ポートサービスセンタービルの
お店を紹介します。（通称：きららセンタービル）

家庭料理上手なママが作る
家庭料理が好評です。

第5回

①

泉州みなと

まごころ家庭料理
ひなと庵

TEL 090-3678-1664

（お弁当予約電話番号）
泉大津市なぎさ町6-1
(堺泉北港ポートサービスセンタービル1階)

●営業時間 11:30 ~ 13:30
●定休日 土・日・祝日



きららセンタービルの玄関を入って左手。料理上手なママが作る家庭料理が自慢のお店！
お勧めナンバー1は、ハンバーグやカツとじ、天ぷら盛合せなど毎日メニューが変わる日替定食！定食用のお得な回数券もあります。夏のぶっかけうどんや冬の鍋焼きうどん、カキフライなども好評です！テイクアウトもありますよ～！

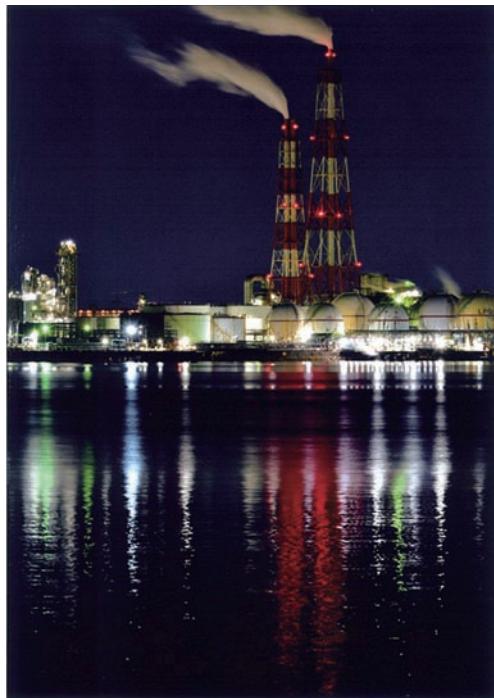


編集後記

- 皆様いかがお過ごしでしょうか。秋とともに泉州各地はだんじり、やぐら、ふとん太鼓など祭り一色に。加えてプロ野球は阪神・オリックスがW優勝。大阪・泉州の秋は、まだまだ熱い日々が続きそうです。
- 創立60周年の節目の年を迎え、ここに記念誌を発刊できることを心よりうれしく思っております。発刊にあたり、ご協力いただきました皆様には心から感謝しております。本当にありがとうございました！
- 長く感じた猛暑もようやく和らぎ、日に日に涼しく過ごしやすい季節になりました。「～の秋」と言いますが、毎年秋になると何か新しい事を始めてみたくなります。今年はキャンプ用品を新調して3年ぶりに計画し、家族で出かけたいと思います。

会員名簿

(株)アイ・エー・エー	関西トランスウェイ(株)	第一警備保障(株)	日立造船(株) 堺工場
朝日海運(株)	関西木材(株)	(株)大連	広道商店
(株)アテックス	岸和田港湾荷役(株)	大王海運(株)	藤原運輸(株)
イースタン・カーライナー(株) 泉北営業所	岸和田市	Daigasガスアンドパワーソリューション(株) 泉北製造所	(株)不動テトラ 大阪支店
泉大津港湾振興会	岸和田商工会議所	(株)大都	平和オート(株)
泉大津市	岸和田港振興協会	(株)大日警 大阪営業所	(株)ベスト・プロパティ
泉大津商工会議所	(特非)紀泉地域21総合整備協議会	大利運輸(株)	豊国石油(株)
泉大津埠頭(株)	共立梱包(株)	高石ケミカル(株)	POSCO Japan PC(株)
泉大津マリン(株)	近畿港運(株)	高石港湾振興会	(株)北海鉄工所
泉佐野市	(株)クリエイション	高石市	北港運輸(株) 南大阪支店 泉南センター
泉佐野商工会議所	(株)栗本鐵工所 堺工場	高石商工会議所	(株)真壁マテリアル
一心港運(株)	K Hネオケム(株) 堺物流センター	(株)武丸海運	間口運輸(株)
岩谷液化ガスターミナル(株)	ケイヒン海運(株)	田尻町	(株)松菱
岩出建設(株)	原子燃料工業(株) 熊取事業所	忠岡町	丸一鋼管(株) 堺工場
(株)エヌティーシー	(株)合通ロジ	(株)辰巳商会	丸全昭和運輸(株) 関西支店
E N E O S (株) 堺製油所	鴻池運輸(株)	田中土建(株) 大阪南合材センター	丸全昭和運輸(株) 堺泉北支店
大阪運輸(株)	コーナン商事(株)	チヨダウーテ(株) 貝塚工場	丸紅エネックス(株) 堺ターミナル
大阪運輸倉庫(株)	コスモ石油(株) 堺製油所	(株)土田組	岬町
大阪機船(株) 南海支店	(株)サウスポイント	(株)Dear Laura	三井化学(株) 大阪工場
(一財)大阪港湾福利厚生協会	堺港湾振興会	D I C (株) 堺工場	三井金属パーライト(株)
大阪製鐵(株) 岸和田工場	堺市	東亜建設工業(株) 大阪支店	港通船運輸(株)
大阪船主会	堺商工会議所	東洋建設(株) 大阪本店	南大阪埠頭(株)
大阪府	堺泉北港砂利石材協同組合	(株)東洋信号通信社	(株)やまと
大阪府漁業協同組合連合会	堺泉北船舶安全協議会	内海曳船(株) 堺出張所	(株)ヤマモト鉄工所
(一社)大阪府清港会	堺泉北埠頭(株)	内外輸送(株) 大阪支店	郵船港運(株)
大阪府タグ事業協同組合	(株)堺ポートサービス	中谷運輸(株)	U B E (株) 堺工場
(公財)大阪府都市整備推進センター	栄運輸工業(株)	(株)西村運輸倉庫	(株)横河ブリッジ
(一財)大阪府マリーナ協会	阪口倉庫(株)	(株)日新 阪神支店	(株)吉田組 大阪支店
大阪府みなど友好俱楽部	阪本薬品工業(株) 泉北工場	日鉄物流(株) 関西支店	ライオン(株) 大阪工場
大阪府ヨットセーリング連盟	櫻井工業(株) 製材所	日東タグ(株) 阪神本部	
(一社)大阪木材コンビナート協会	(株)さくらコーポレーション 泉大津支店	日東物流(株) 大阪支店	
大阪湾広域臨海環境整備センター	山九(株) 泉北支店	日本製鉄(株) 関西製鉄所	
大豊運輸倉庫(株)	産業振興(株) 西日本営業部 関西営業所	日本製鉄(株)瀬戸内製鉄所 阪神地区(堺)	
(株)オーナミ 関西事業部	三興倉庫(株)	日本通運(株) 大阪国際輸送支店	
奥田数(株)	三洋海事(株)	日本榮船(株)	
奥本製粉(株)	サンワールド(株)	日本海事興業(株) 神戸・大阪営業所	
貝塚港湾振興会	汐見埠頭協議会	日本酢ビ・ボバール(株)	
貝塚市	新関西国際空港(株)	日本振興事業協同組合	
貝塚商工会議所	新関西製鐵(株)	日本トランシスティ(株) 大阪支店	
梶野産業(株)	伸共運輸(株)	舶用商事(株)	
金澤運輸(株)	新洋海運(株)	畠野工業(株)	
要薬品(株)	(株)スバルロジスティクス 関西納整センター	八興運輸(株)	
兼杉興業(株)	(株)住友倉庫	(株)PALTAC	
(株)上組 大阪支店 堺出張所	センコー(株) 南大阪支店	パレ・フタバ(株)	
(株)カワサキ	泉州トラック事業協同組合	阪九フェリー(株) 泉大津支店	
関空泉大津ワシントンホテル	泉南市	阪南港運(株)	
関西港湾サービス(株)	(一社)全日検 大阪支部	阪南市	令和5年10月1日現在
関西電力(株) 火力事業本部	泉北港運協議会	阪南倉庫(株)	
関西電力(株) 堺LNGセンター	大一機工(株)	阪和流通センター大阪(株)	会員 176 団体



第45回 海の写真コンクール 特選(大阪府知事賞)
西本親志【赤のリフレクション】

